

林下曹洞宗における相伝史料研究序説（六）

——永光寺関係史料篇（上之二）——

飯塚大 展
土屋圭子

はじめに

本稿では、前稿に引き続き石川力山氏「中世曹洞宗切紙の分類試論」の中心的研究対象であった永光寺所蔵切紙の全体像を概観することを目的とする。駒澤大学図書館蔵『佛佛祖祖相傳秘密正法眼藏』上冊（一八丁表～卷末）を翻刻紹介したいと考える。また、今回は、駒澤大学大学院修士課程二年土屋圭子に切紙の大事部分（図）の作成の協力を得た。

【翻刻凡例】

一、本史料翻刻に際して、底本には、駒澤大学図書館蔵『佛佛祖祖秘密正法眼藏』を用いる。

一、底本の翻刻の体裁は、史料の原形をできうる限り反映させることを原則としたが、掲載の都合上、図と本文との関係（前後左右）を変えた場合がある。文字の大きさも同様に、必ずしも統一できていない箇所がある。尚お底本と永光寺現存史料との校合は、別途行なう予定である。

一、参考史料として、正法寺所蔵『佛祖嫡傳聖財之卷』を二段組で翻刻する。

一、翻刻に当たっては、異体字・略体字・別体字・俗字等は、原則としてその書体に近い形で翻字を行った。ただし一部現行の書体にて翻字した場合がある。省文等も同様である。また、明らかに誤写と思われる部分については、また脱字が明かな場合には、必要に応じて他のテキストを参考にし、傍注を付した。

- 一、踊り字について、片仮名は「、」、「ゞ」、漢字は「々」、「々々」を用い、二字以上の「く」「ぐ」も用いる。
- 一、合字の「ㄗ」「ㄛ」「ㄝ」「ㄱ」「ㄱ」は、そのまま翻字する。
- 一、濁音・促音等の表記は、原文のままに翻刻し、敢えて統一ははからない。
- 一、句読点に関しては、読解を便ならしむるために、適宜これを補う。

【駒澤大学図書館蔵『佛佛祖秘密正法眼藏』上冊】

（30）永光―駒澤 0030「阿難應諾話」

「三十」



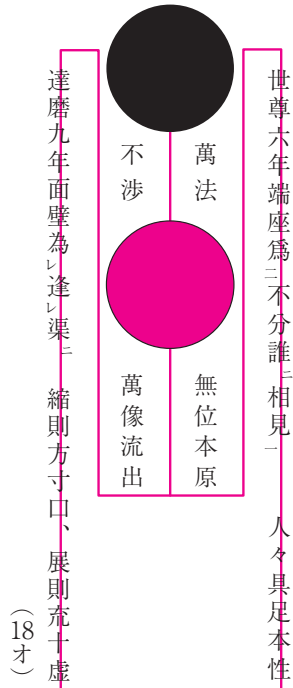
阿難應話^{（前脱カ）}

事大

師示云、迦葉刹竿ノ話ヲ、何トテ阿難應話トハ云フタゾ。
挙、何ト云モ俣テ候。○證拠ヲ。挙、師ヲ推ノケテ坐ス
其跡一。○尚ヲモ子細ニ。挙、幡刹囑シ無為ニ、應話通ニ無為ニ
候。○應話ヲ。挙、心通レ心ニ、○通處作麼生。挙、阿難力其俣迦葉^{（脱カ）}
候。畢境ヲ。挙、有レ我ニ有三昧。

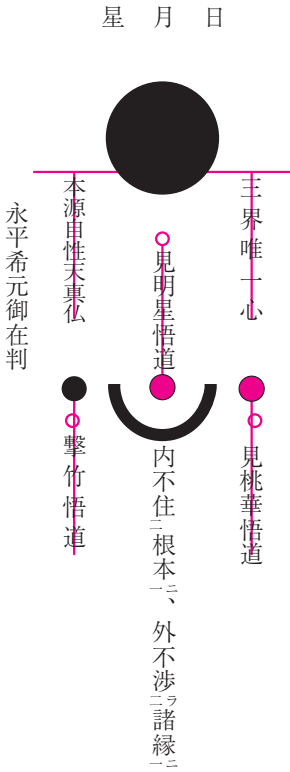
(31) 永光一駒澤 0031 「小藏誰之圖大事」
「三十一」

小藏誰之
圖大事
代々傳來如也
可秘くく



(32) 永光一駒澤 0032 「三悟道之大事」
「三十一」

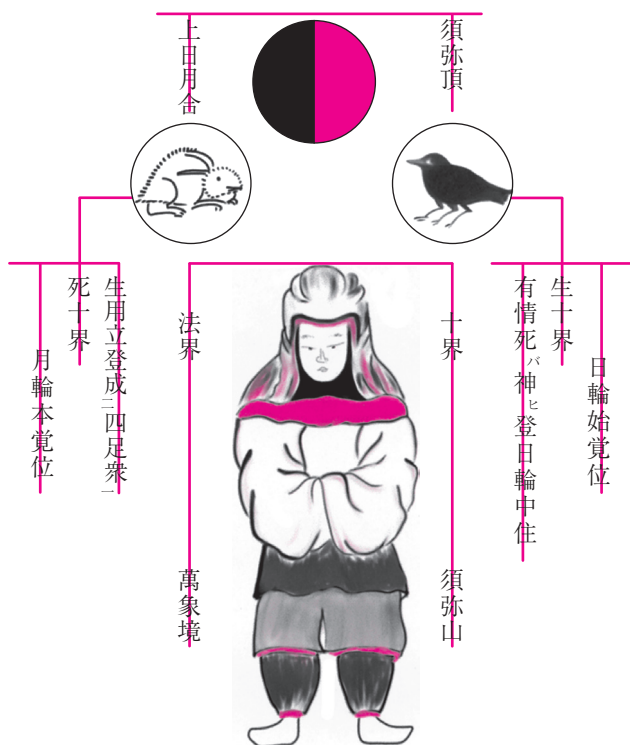
三悟道之大事



林下曹洞宗における相伝史料研究序説 (六) (飯塚・土屋)

（33）永光一駒澤003「生十界死十界曹洞秘密旨訣」
 「三十三」

佛祖正傳生十界死十界曹洞秘密旨訣



生佛心日月和合之根源生死大事　口傳云ク、佛衆生有情非性モ（19オ）

生佛心一等、不二之心ナル故ニ、法界一如而無別事、一切衆生死シ生佛心之三魂、皈ニ本覺ノ日輪ニ、成ニ三足之鳥ト、住ム日輪之中ニ。三界万德之種子モ、一切衆生ノ種子モ一如也。生時日月輪ヨリ生スル故ニ、死スレバ亦生ノ用立登テ皈ニ本覺之月輪ニ、成ニ四足兔ト、云ニ是月輪ト。是ニ本性ヲ、晦日刀時ト、日月登ニ須弥頂ニ、星宮殿ニ而和合ス。日輪種子下生ニ三界ニ。用ハ月輪立チ登ル故ニ、次第成ニ圓滿ニ、亦月輪從ニ二十五日ニ、次第ニ用滅ニ、晦日ハ用皆失テ成ニ黑月ト。是レハ下ニ三界ニ種子ヲ養フ萬象ヲ故ハ也。亦晦日寅時ヨリ用次第立ニ登ル故ニ十五日ニ成ニ滿月ト。日輪ハ火、月輪ハ水、男火女水。因レ是ニ男婦水少、女ハ婦水多、法界ノ中ニ而、火少水多シ。死レバ三魂皈ニ本覺ノ日輪ニ。七魄登レ天ニ成ニ三世ノ真道ト。五臟ハ止レ地ニ、一切ノ鬼神ト成ル也。衣エ那天上ニ而レ成レ雲。故ニ日月常ニ覆テ無レ光リ、是云ニ荒神ト也。人間作ニ善惡ニ障ヲ荒神ナリ。萬法種子根源、日月、男女、火水自ニ性ニ生ル也。（19ウ）


吞良云、生ト者、一切衆生ノ種子、火精也。佛者、悟心、水精也。心トハ、人間種子、風精也、風勢也。生佛心ハ、水火風ノ三也。是則十界之精也。三足鳥也。男ハ、日輪現ル也。女ハ、月輪未レ來男也。去文曰、胎内即是名本覺ト。此文ヲ見ルニ、月輪中ハ、母胎内ノ事也。胎内ニ入ルカ、本覺也。此切紙心得多ク難レ極也。月圓欠モ、生死乃二路モ有ニ此中ニ。須弥トハ、人ハ躰也。人身立ツル須弥ト時ハ、日月兩眼也。風氣息也。此図ノ時ハ日月父母也。須弥者、我身也。

（34）永光一駒澤0034「五位之秘訣」（仮称）

永平希元禪師云、彼優婆塞多尊者、後ニ法嗣ニ商那和修ニ。顯夢有リ靈驗。黑常山ニ侍立ス。彼ノ山從ニ石窟ニ、一卷ノ疏取出、月支、震旦、日域イキ流希（希）。梵文疏自リ是始也。尊者夢處、阿字、即五智五佛本ハ躰也。五根・五臟（辨カ）・又自リ是始カ歟。曹洞門庭、今唱和處、五位之秘訣、是也。五位者、所謂旨訣五位也。偏正五位也、君臣五位也、巧（機カ）薰五位等。縮ニ二字ニ則阿吽（ナフ）之二字、偏正・黑白・理支・君臣・色空・明暗等也。是皆從ニ阿字ニ出テ、則收ニ阿字ニ者也。是則吾宗建立也。雖然（リ）如是泥（20ウ）語ニ沈レ句ニ不レ可拘ニ文字文章ニ。頁ニ是阿字ノ當人、吽字之當人而始テ得一。亦中南二天二儀表德、高文雖（ホ）莽（ナリ）闕一、也從釋迦牟尼佛ニ傳來而到ニ達磨大士ニ、二祖并ニ祖々相傳而、我祖到テ如淨禪師ニ、忝（クモ）予天童之笏室ニ於テ、親ク相承者也。我朝末孫之々子、速ニ可レ有ニ直傳一者也。仍レ之有ニ截紙一可秘（一）。

（35）永光一駒澤 0035 「悉曇疏文」

「三十五」

悉曇疏文、自^二億々阿僧祇劫^一、雖^二トモ悉曇疏有^一リト、出^ル夏者、從^二釋迦牟尼如來五世優婆塞多尊者ノ時也。是者登^レ天^ニ、入^レ地^ニ、坐^レ風^ニ、留^レ雲^ニ、水上靈座^シ、自由自在之尊佛也。目蓮尊者親脉也。任^二驗夢靈顯^一、開披而見^レ文^ヲ有^レ書。五十不可得、七十二道、異字合點、此類異字中南之二点者、聞也。二儀表德文莽鹵也。如是嫡々相承而到^二達磨大士^一、自^レ夫傳來、天童淨大和尚正傳^二永平和尚^一畢。

璨應二丁卯歲三月廿八日 現云夢靈鑑白也（20ウ）。

(36) 永光一駒澤 0036 「郢州大陽開山明安大師卵形未分圖」

「三十六」

郢州大陽開山明安大師卵形未分圖 云「夜參血脉」

上段也	● 卵形未分	毘盧界 極樂	佛陀 寂光土	無人境 佛眼鏡	古鏡臺 大魔	⊙ 不動ナリ 風正鉢
中段也	○ 分破晝	化身界 天宮	衆生 修行土	諸人境 凡眼銀	破鏡臺 佛界	風分テ作レ天ト 少動ナリ
下段也	● 卵形夜	報身界 地獄	菩薩 清淨土	大人境 法眼金	業鏡臺 魔界	⊙ 分アラハレテ 地大動スル風
天父徧	◐ 陽田清	日理 臣	現在 生善樂	一夜落花雨	百億分身處々身	普賢乗レ象ニ
人中我	◑ 一般不二	星 君臣合道	未來 死生一致	滿城流水芳	銀河波底兔推輪	文殊乗ニ獅子ニ
父正母	● 陰黑濁	月事 君	過去 死惡苦	長夜漫々	紫極宮中鳥抱卵	唯我獨尊

大師告テ遠和尚ニ云、知ニ卵形未分時一無。遠即云、如何是卵形未分時。師以レテ作ニ●形ヲ示。問、卵形分破作レ天時如何。師以レ手作ニ○形ヲ示。問、卵形分破作地時如何。師以レ手作ニ○形ヲ示。(21才) 問、如何是卵形未分性。師即默示。如何是天形性。師則出ニ陽息ヲ示。問、如何是地形性。師則出ニ陰息ヲ示。遠忽然ト大悟、礼謝去。後ニ某甲遠書ニ卵形圖并ニ師圈續ヲ、以

作^ス宗門之一大要因縁^ト也。謂^ニ之三個劔^ト、又謂^ニ之三談訣^ト、又謂^ニ之三世ノ血脉^ト、又謂^ニ之三寶論^ト、又謂^ニ之三生眼^ト也。
 夫卵形之葛藤^ヲ者、天之陽氣下、地陰氣合而自生^シ動搖氣^ヲ、自生^ニ万物脉^ヲ。殊^ニ有^ニ卵生・胎生・濕生・化生四生^一、各自具^{シテ}
 五蘊^ヲ、生^ニ六根^ヲ矣。愚^ニ而迷^{シテ}故^ニ、皮毛戴角而墮^ニ起滅坑^一、沈淪三界。知^ニ悟故^ニ、教外別傳^ヲ出^ニ生死窠舊^一、遊^ニ履^ス十
 方^ニ。皆是天風地風虫之所^レ作也。何^カ故^ソ。威音如來昔坐^ニ斷^ニ卵形中^一、而^モ未^ニ曾^テ地出生^一、是時諸佛不^レ知諸佛^ヲ、菩薩不^レ
 見菩薩^ヲ、謂^ニ之不見不知之時^ト。如來出世^{スル}時、廻光徧照^{シテ}而深^ク省^ニ本身相^一、得^レ爲^ニ三界導師^ト。曾靈山會上、拈^ニ一[（]21
 ウ）枝芳^一而^モ引^ニ得頭陀微笑^一。後^ニ正法流^ニ希天下^一。皆是卵形分破而以來之妙道也。若問^ニ卵形未分時^一、無^ニ一法^一。吾^カ師明
 安大師、深^ク省本身之相^ヲ、權^ニ立^ニ此三種之圈續^一、某甲^ニ附^ス。予信受^シ奉行畢。勿^レ疑諸方禪流、此一大事因縁^ヲ。可秘^ク
 。

右通^リ道楷記畢、附^リ了淳、傳轉如淨附^ニ授永平^一、自永平^一嫡々傳來到^ル洞谷^一。今附^ニ四門人^ニ了^一。紹瑾判在^リ。
 惣多尊者傳記アレトモ今畧^ス之ヲ。

(37) 永光一駒澤 0037「榮西僧正記文」

「三十七」

榮西僧正記文

榮西求^レ法^ヲ爲^ニニセン懷^ノ、欲^レ征^ニ西乾^ニ。生年二十八歲^ニ、渡海^シ入唐^ス。彼国^ニ佛法將^ニ（特力）盛^{ナリ}。王公相將皆歸^ニ佛道^ニ。見^ニ此風氣^一、隨喜銘^ス肝^ニ。其年秋^ノ間^ニ皈^ニ国^ニ。後^ニ再入宋^ニ參^ス善智識^ニ。聊^カ傳^ニ臨濟之宗風^一、兼^ニ善^ニ吾家之公案^ヲ、駐^ム錫太白^ニ、始終五年。于時虛^キ（22才）菴懷敏禪師爲^ニ當寺之堂頭^一、礼^ス爲^ニ傳法之宗師^一。是^コノ師是^ニ乃^ニ到^リ也。遂^ニ歸^ニ日本^ニ、建立^ス三^ニ个寺^ヲ、潜^ニ弘^ニ通^ニ祖師之道^ヲ。然而未^{タル}廣博之傳授^一所以、時節未^レ到也。時節若^シ到^{ラハ}、法自然行^ハ焉。榮西建立^ス三^ニ个寺^ヲ、建^ス仁寺、聖福寺、壽福寺、專^ラ志^ス禪宗^ヲ。但^シ鐘撞^テ未^レ過所以、不^レ遠^ラ響^ニ而^レ已^ニ。此^ノ三所寺院、踴躍交變、興廢代謝者、暫^ク候^マレ^マ也。雖^レ然^モ如^{ナリ}ト是、始終應^レ歸^ニ禪宗之一門^ニ、是則榮西多生願念也。榮西在世之間^{タニ}、結緣道俗、助成^ス此^ノ道^ヲ、弘^ク傳^フ吾朝^ニ、彼時国王大臣歸^ニ信^ニ此宗^ニ、興^ニ隆^ニ此宗^ヲ、其時明^キ心^ヲ悟道之人充^ニ滿^ス於朝野^ニ、榮西門人以^ニ清淨之梵行^一爲^ス業^ト。以^ニ三衣一鉢^ヲ爲^ニ所持^ト、永^ク抛^ク名利^ヲ之輩、當^ニ授^ニ傳^ニ大道^ヲ也。粗違^ハ之、非^ニ吾^ニ弟子^ニ。應^レ知、榮西去^レ世^ヲ後、五十年ノ以後、大道盛^ニ於日本^ニ焉。悉知^{セヨト}。或^{ヒハ}依^リ應真之告^ニ、（22ウ）或得^テ上天^ノ告^ニ記^ス之。

皆建保二年甲戌正月二日、榮西錄^ニ門人明全^ニ。在判

大宋宝慶元年乙酉五月廿四日、明全傳^ニ道元^ニ。全在判

此記^ノ文ハ、永平開山和尚諸宗血脉内加納^{玉フ}所也。

今正和四年乙卯八月七日写^ス之者也。

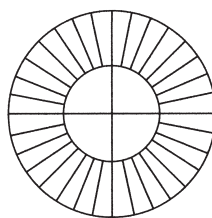
先師傳戒之本師演和尚ノ遺物也。演公入滅之後、条々云、夢中^ニ在^リ垂示^一。其^コ中正和四年七月廿九日、垂示^ノ曰^ク、予^カ以^テ先師道元^ノ之嗣書・血脉^ヲ授^ル與^シ渡事^ハ者、開山示^ス曰^ク、此嗣書等ハ悉^ク是^レ御邊先生^ニ之所持物也。開山曰^ク、御邊者予再来也。即不^レ他物^一、總^テ可^レ與^テ授^ケ之^ヲ。垂示^ス承^ル之^ヲ。予不^レ知處、以^ニ禪眼^ヲ渡^ス之^ヲ。予預^メ人也。御邊本主也。仍^テ紹瑾開^ニ此書等^ヲ礼拜^ス。同拜之人、紹瑾^ハ左、素哲^ハ右脇^ニ可^シ並立^ス。重^ニ坐^ニ具^ヲ而礼拜^{シテ}奉^ル拜見^一。条々（23才）雖^レ在^ニ子細^ニ、不記之。爲^ニ後代^ニ記^ス之。僧正之記文、應真之告符之間、令^レ寫^サ此記文^ヲ也。

大乘第二代 洞谷紹瑾 在判

林下曹洞宗における相伝史料研究序説（六）（飯塚・土屋）

良云、是録智識勘弁之大事也。大者紙一枚ニ書シテ裡ニ作レ図也。

（38）永光一駒澤 0038 「荣西僧正記文注」
「三十八」



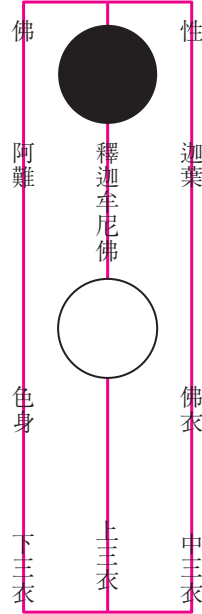
良曰、是レハ應真之告符也。右記文録者、智識之眼目也。切紙成就不成就乃勘辨ヲ、以ニ此記文一ツ點見スル也。大ニ厚紙ヲ以テ、表ニ記文ヲ書シ裡ニ作ニ此図一ツ也。切紙點見ニハ、切紙盡ク調タルヤト問フ相拶拔ニ、中中記文ノ録迄テ相傳了テ候。時又タ裡ハト問。嗒テ曰、應真ノ告符テ候處ロテ、於ニ當一派ニ成就長老テ候。珍重く。

此故ニ表ニ書シ記文一ツ、裡ニ書シ告符一ツ也。諸切紙皆く相傳了テ、此切紙ヲ附與スル也。此図猶秘ノ不犯也。是勘辨之大事也。自ニ昔日一到レ今ニ、切紙者、問ハ早ヤ記文ノ録迄嗒ル也。可秘く。

(39) 永光一駒澤 0039 「大衣之書」

「三十九」

大衣之書 法界一心萬法 佛袈裟



夫佛袈裟者、先法界^ヲ自為^ニ大衣^ト、故^ニ云八万四千條^ト也。謂是八万四千毛^(微カ)窮也。佛袈裟者、人身也。即身即佛ノ正躰^ニ而自佛身^ヲ故也。即今愚忘之迷徒^ヲ云^ニ不淨衣^ト也。是真之一袈裟也。此ノ凡肉身便悟^ニ佛身^ト、箸^(着カ)衣大衣法服^ヲ云也。眼耳鼻舌身、空風火水地、青白赤黑黃、則大衣之紋綵也。是大乘乃大衣也。代々相傳如此也。

（40）永光一駒澤 0040「住山圖」

〔四十〕

住山圖 又鉏斧住山貴裡紙 亦垂下禮拜話之切紙

住山

本分

之眼

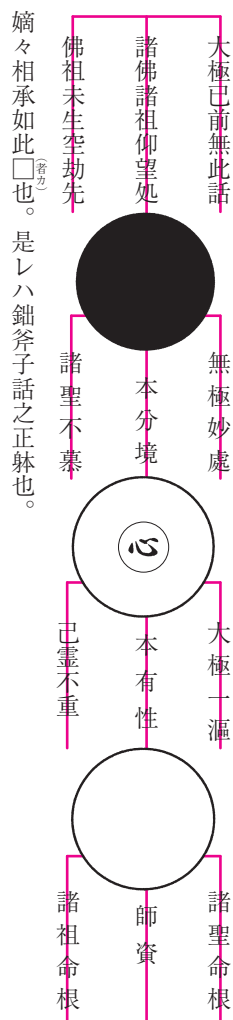


師云、本分境ニ住山シ様ヲ。挙、師ヲ推除坐ス。云、夫レハ何トテ。挙、困^{（国力）}無^二王^一。尚ヲ子細ニ。挙、作^レ産帝王テ候。夫レナ
ラバ、何トテ嗣法、何トテ許ルサレテハ、住山シタゾ。挙、繼^キ了ハ、弟子カ直^二師^一テ候。云、繼様ヲ。（24才）挙、松ハ松ノミ
トリ、杉ハ杉ノ翠^リカ出テ候。心者、国ハ境界、心ハ王也。王テ王位ヲツイダ時、繼目ノ無イコト也。是ヲ内紹不出ノ君ト云
フ也。當則ハ、尊貴テ尊貴ヲ紹イダル事也。石頭ガ直ニ青原也。本有天然向上其俣ノ貧處也。少功作無ク當處ニ混濁ナキ也。
不^レ經^{不^レ盡}尊君也。鉏斧子ハ、一物之事也。師云、住山ノ眼ヲ。挙、師ノ前ニ到テ、如何ニモ静ニ喏シテ伊レテ候。○證拠ヲ。
挙、柳ニハ緑^リ花ニハ紅^イ、金ニハ火、木ニハ水ヲ具シテ候。○畢竟ヲ。資即礼三拜。心口ハ、鉏斧子、一佛性ノ異号也。眼ト
ハ是也。佛祖共ニ化縁ニ引カレテ出生ナレト、即今久遠本分ノ本主ト見レハ、久遠ヲ不^レ出、化相^ニ着セヌ也。是ヲ内紹不出、
本分ノ俣ト云フ也。君主也。云、住山ノ話ヲ、垂下ノ礼ノ話ト云タル心ヲ。挙、相續不斷ノ心^子テ候。萬歲^{（ウ）}。至
祝九拜。

嫡々相續如此也。可秘^{（ウ）}。

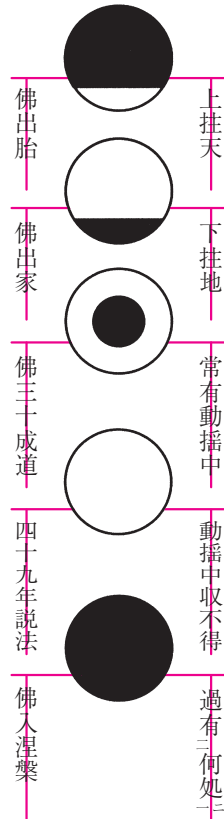
(41) 永光一駒澤 004 「鋤斧子之図」
「四十一」

鋤斧子之図 又住山之大事



（42）永光一駒澤 0042 「喫菓子話之圖」
「四十二」

喫菓子話之圖 良曰、一物^ハ陽^ニ隨^ヒ陰^ニ伴^ヒ来^テ不^ニ陰陽落^一、即今無形ナルユヘニ、亦無^ニ所住ノ處^一。
有一物



良曰、正中偏、曉天。正^一来、日中。^{（開カ）}徧^一正、曰慕。^{（慕カ）}兼中到、夜半。兼中至、申時。^{（承カ）}代々相相如此也。可秘。（25才）

(43) 永光一駒澤 0043 「六祖大乘見解」

「四十三」

六祖大乘見解 不生不滅之大事 〈六祖以来半紙ヨコキリ二十一行ニ書也。〉

六祖大師云、大乘見解者、明^ト與^ニ無明^一、其性不^ニナリ。無^ニ之性、即是佛性也。佛性者、處^ニ凡愚^一而不^レ滅、有^ニ賢聖^一而不^レ増、住^ニ煩惱^一不^レ乱、居^ニ禪定^一而不^レ寂、不^レ斷不常、不來不去^ニ、不^レ住^ニ中間^一モ、及^ニ其内外^一、不生不滅也。性相如々ト^テ常住^ニ不遷^{ナリ}。名^レ之云^レ道。箇曰、師說^ク不生不滅^ト、何異^{ナル}外道^ニ。祖云、說^ク外道不生不滅^ト者、以^レ滅止^レ生^ヲ、以^レ生顯^レ滅、我説^ク不生不滅^ト者、本自無生^ニ、今則無滅也。無滅所以^ニ不^レ同^ニ外道^一、你欲^レ會^{ント}必要^ヲ、但^タ一切善惡都莫^ニ思量^一。自然得入清淨^ノ心鉢^ニ、湛然常寂、妙用恒沙^{ナラン}。箇蒙^ニ師教^ヲ、豁然^ト開悟^ス。〈異本^ニ簡トアリ。〉

永平希元在判 〈威ヲトラフ性アリ。トヲリ入^ハカナフ。〉

正中甲子二月朔日 紹瑾在判 (25ウ)

（44）永光一駒澤〇〇本「頂門眼切紙」（仮称）

「四十四」

六祖云、頂門眼照^ニ破^ニ四天下^一、是那个眼睛^ソ。自指^ニ面前灯籠露柱^一云、瞥眼瞥耳^ニ這個響^一。云、眼々相對頂門眼、心心相投已前心。永平大佛希元投氣^ニ云、頭對^レ肩^ニ今耳對^レ眉^ニ、箇ノ眼^ヲ喚^{シテ}作^ニ頂門眼^一、是正法眼也。一切開華老梅樹、是則瞿曇眼睛也。正僧^{（傳）}承當^ス。拈^ニ三個頂門眼睛^一、百億ノ須弥、百億ノ日月、無邊風月、唯沙門之一眼睛也。去^テ不盡乾坤灯外燈。《瞥眼一ー不見不聞也。花ノ如ク見^タカ、頂門眼ナリ。右良和上云々。》

六祖云、眼々相對頂門眼、心心相投已前心。永平和尚云、頭對肩今耳對眉^ニ、此眼^ヲ喚^{シテ}頂門眼、作是正法眼也。此正法眼^ヲ呈露^シ投機^ス。即是宗門棟梁、叢林繁茂也。非^ニ正嫡^一不可^レ傳授^ス。可秘^{（一）}、同參。頂門眼。拳、師ノ前^ニ座^{シテ}而兩手當^レ腮^{（一）}居也。心宿胎之孩兒之眼^カ、頂門眼也。少^{シモ}無^キ知解、亦向^レ師^ニ、本国本名^{ヲモ}名乗^ル也。是^{レハ}白色無辨^ヲ取^ル也。珠岩玠和尚曰、頂門ノ眼。拳、指^ニ眼影^一。心、睡起ノ眼差也。是^カ頂門眼也。句ヲ。拳、鴛鴦瓦（26才）上^ニ瞥然声一ー驚。

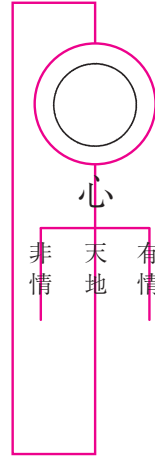
○大源真孫恕中間云、我祖翁此話^ニ投機^シ、我亦廿年前、涕淚非泣、个ノ話^ニ當著^ス。眼者^{（イツハ）}、総名也。爲^レ明^{（アカ）}サンカ一實中道圓真佛性^ヲ、豈^ニ恰^{（カモ）}契悟^{（センヤ）}。觸^ニ饅^{（モ）}前^ニ有^ニ本来靈^一、照^ニ徹^ニ毘盧頂顛^一。个眼^ヲ發開^{（ンバ）}則明々ト不^レ明、又合則暗々ト不^レ暗、雖^{（モ）}然亦不^レ預^{（ニ）}開合^一、或十八眼、或六眼、或五眼以莫^ニ頂門眼成^{（ス）}。雖^{（モ）}與^{（ナリト）}廢^{（ナリト）}、亦不^レ可^レ捨^{（ツ）}。透^{（ニ）}徹^{（セハ）}此語^ニ、井驢話、三悟道、目前真大道、正法眼^ニ當人^{（セン）}。門歌^{（ケイ）}非^{（ンバ）}正嫡^一、不^{（カフ）}嘗^{（フ）}知^{（ヒ）}之^{（ヲ）}實^{（ニ）}不^{（レ）}辨得、如何是分^{（ニ）}邪正^{（ヲ）}乎。可^{（レ）}秘^{（一）}。不^{（レ）}有^{（ニ）}傳授^{（ノ）}人^一、堅^{（レ）}不^{（レ）}可^{（ニ）}傳付^{（ス）}。《林外^{（ヲ）}云^{（レ）}門同^{（洞）}。》恕中師梅山聞本和尚語^ニ着、唯佛予佛、乃能窮盡。亦畢竟着語^ニ、只此^{（ノ）}不汚染、諸佛護念處^{（ロ）}。

良云、梅山・恕中、當山^{（ニ）}ハ末山末師^{（ユヘニ）}不^{（レ）}用^{（トイヘテ）}、雖^{（モ）}然爲^{（ニ）}證據^{（一）}一書之。頂門眼者、切紙一通ナリ。一通ツ、別紙。

(45) 永光一駒澤 0045 「頂門眼之切紙」

「四十五」

頂門眼之切紙 六祖云、頂門之眼照ニ破四天下ニ、



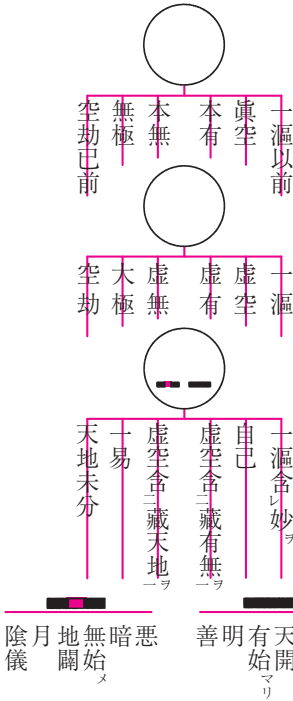
看ニ見スルコトハ、法界萬象ヲ、及ニ肉眼之ニ處ロ也。觀ニルコトハ、無形暗々處ヲ、見破也。謂ニ之頂門眼ト也。亦是云フ道眼ト。冥目良久、見ニルニ十界ニ不レ見無レ處也。

天童淨和尚永平元師代々相承到ニ洞谷ニ。

(46) 永光一駒澤 0046 「趙哀無切紙」

「四十六」

趙哀無切紙 又無之大事 又無之辨 大極云ニ儀ヲ云ニ久遠ヲ久遠ト、今時ト。



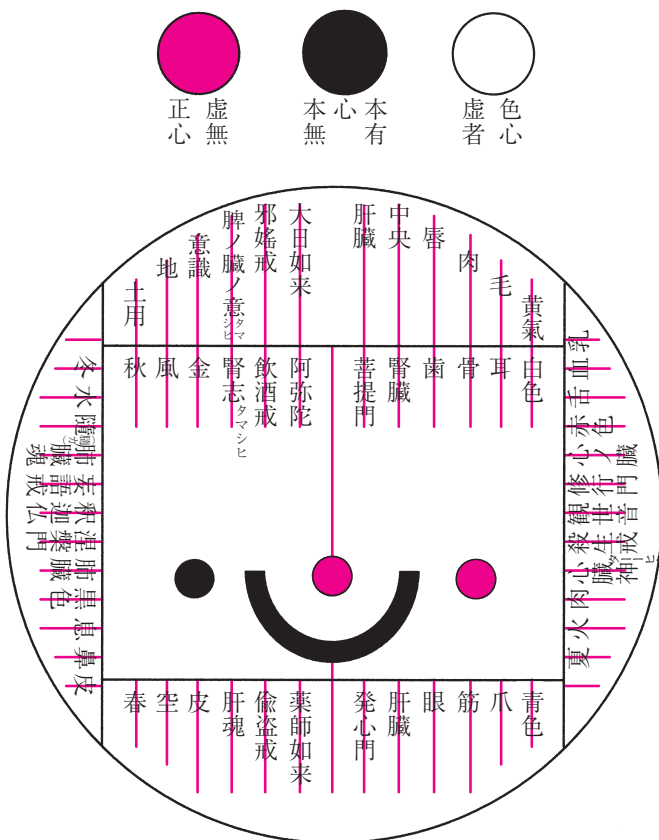
林下曹洞宗における相伝史料研究序説 (六) (飯塚・土屋)

（47）永光一駒澤0047「趙哀無之大事」

「四十七」

趙_シ耳無之大事

外圓ハ、大日也。心三點ト横釣四維也。



「*以下の文、図の下にあり。」

師示曰、本無^ヲ。拳、火煙^ニ水^ハ冷^テ候。

拶^ノ云、知得シタラバ、虚無^ヨ。知

不知^ニ落^ヌ様^ニ、^⑧多^ク、有^レ我^ニ三

昧、我^モ亦不^レ知。夫^レハ何^トテ。

拳、人々^々乍^シ具足^シ、不^レ知呈^ニ、

本無^デ候。

良曰、無^ト心^ト妙^ト性^{トハ}、

一ツ也。本分ノ本主ニ種々^ニ

異号スル也。万象ハ無^ノ

字^ニ具^{ナハ}ル也。種々無^レ尽

ノ事、心ノ字ニ籠^{コモル}也。妙ノ

字、性乃字、同シ心也。即今^{ヨリ}

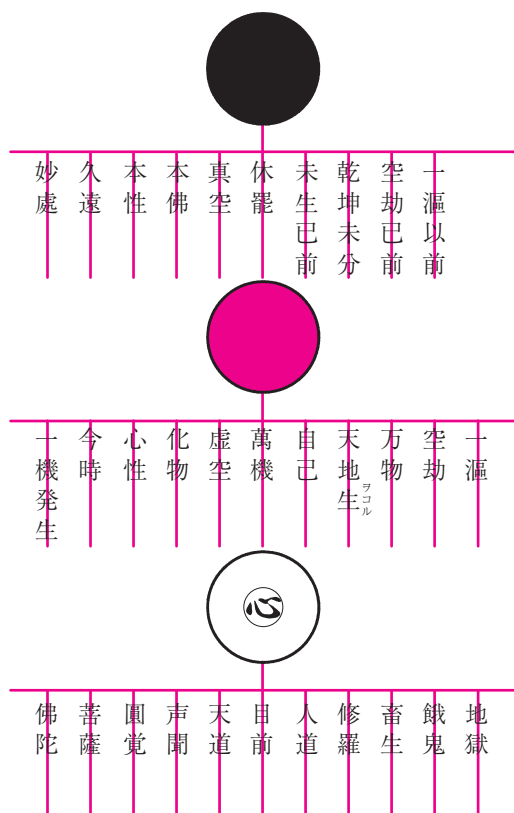
無形^ニニテ不^レ見^ミカ、本心本無也。法界^ニ

充^⑨ツル^ラ、万法之心^ト云フ。一切衆生、佛

生ヲ具スル也。

天童永平嫡々相傳如此也。(27ウ)

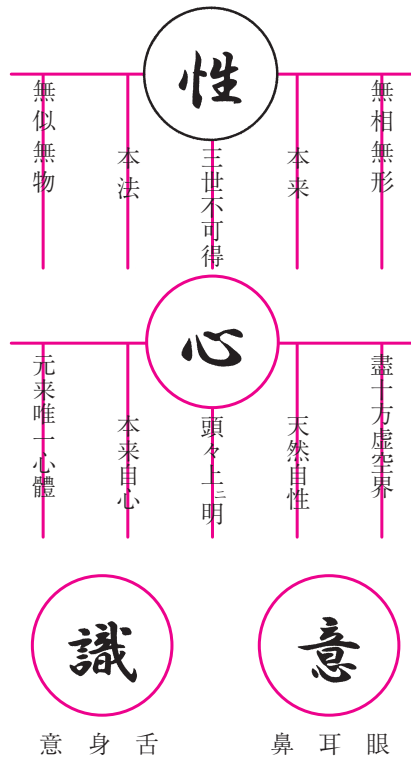
（48）永光一駒澤0048「萬機休罷之切紙」
萬機休罷之切紙



師示云、万機ヲ。挙、畫^ニ一圓相^一云、頭々^{モツモツ}物物上。へ良云、於^テ法界上^ニ総無量ノ事ノナリ。へ師云、休罷ヲ。挙ス、諸縁ヲ脱却シテ候。良云、化縁脱出カ休罷ナリ。生死透脱也。脱端^{ハツ}之活処也。畢竟ハ元来不^ニ相^一干生死一本位^{ナリ}。是^ヲ内不^レ住^ニ根本^一、外不^レ涉^ニ諸縁^一本主ト云也。即今不生不死、不苦不樂^{（樂カ）}之當脉也。可秘^{（オ）}。 （28オ）

(49) 永光一駒澤0039「不可得之圖」
「四十九」

不可得之圖

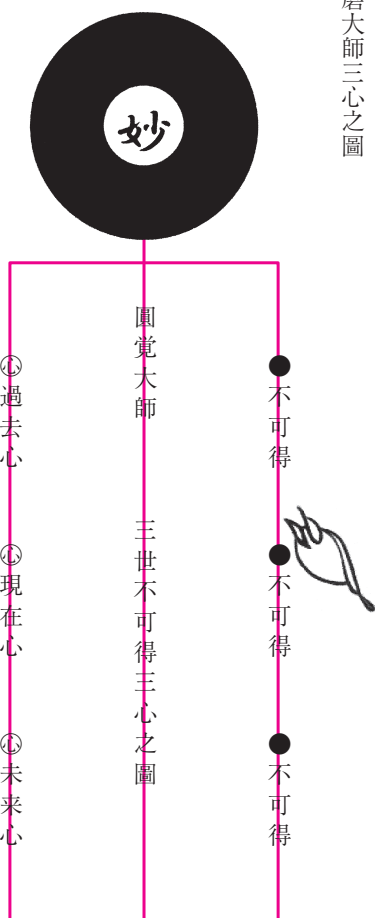


代々相傳如此也。

良曰、本分妙旨者、乾坤ニ充塞シ、法界上ニ平等ニ、雖ニ顯露、根本無形故ニ、曾テ無シ蹤跡一、不ニ毛頭モ露レ故ニ、不可得々々々ト傳来ス。故ニ不可得即當人也。聖人見性ノ不可得ト、愚盲不可得ハ、別格也。
可秘くく。(28ウ)

（50）永光一駒澤 00350 「達磨大師三心之圖」

達磨大師三心之圖



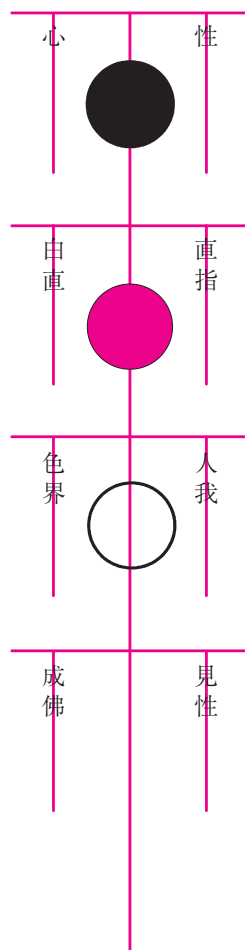
心者、直指、髓、教外別傳之一大事也。三世共^ニ不可得、不可得、不可得也。識得、知得、辨得、忘心也。不可得、不可得^カ大乘之心也。不可得^カ當人也。當人^ニ無辨處也。

于時仁治元^辛 丑年三月三日 希元判^{アリ}

代々傳授如此也。可秘^く。 （29才）

(51) 永光一駒澤 0051「宗門見性之大事」
「五十一」

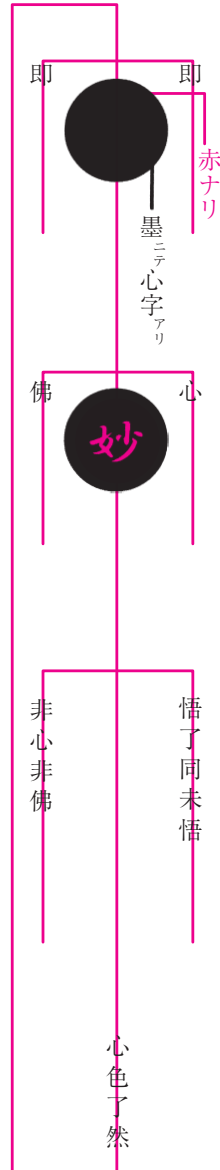
宗門見性之大事、又直指人心之切紙云也。
達磨大士云、直指人心、見性成佛



自昔日傳來如此者也。 可秘く。

（52）永光一駒澤0052「即心即佛之大事」
「五十二」

即心即佛之大事

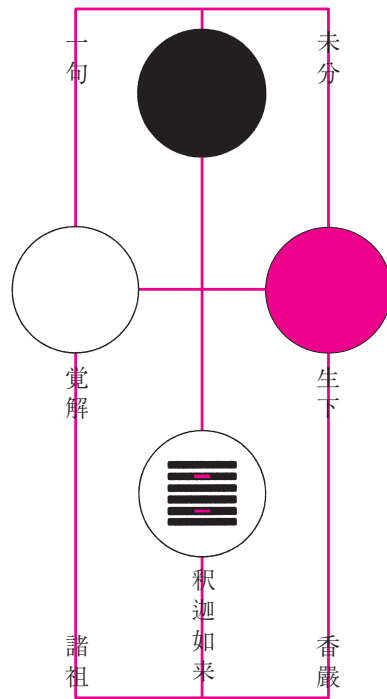


良曰、即心自然^ニ其^レ俛心、妄心、邪心、惡心、外也。即佛^モ同心也。本有天然^ノ妙処^ノ妙力、本佛也。自然大虚即也。含^ニ藏^ノ大
虚中^ニ一物^ヲ云^ニ即心^ト。一度悟了^{セバ}非心非佛也。

自^ニ昔日^一代々傳來如此者也。（29ウ）

(53) 永光一駒澤 0053 「擊竹悟道之大事」
「五十三」

擊竹悟道之大事



嫡々相傳如此也。

良曰、徹^ニ本分^ニ未^レ出^ニ母胎^ヲ、明^レ道^ニ一^ヲ得^ニ契^ニタル未^レ生以前^ニ故^ハ、香嚴^ハ一^ニ代生下未分^テ指^シ透也。當脫^ニ躰現成也。四大脫落、

悟邊離却也。故^ニ古人許^{シテ}、大覺為^ニ本師^ト位^ト、云^ニ三悟道也。
可秘^ニく^ニ。(30才)

（54）永光一駒澤0024「大魔境之切紙」

「五十四」

大魔境之切紙 九峯虔禪師問レ僧、如何是大魔境。師曰、大極已前無ニ此話一。自拳ソ云、往来無相寢全躰。此圖ハ、

佛レ諸ノ命根、万象種子ナリ。
師資相承、根本相形。正中偏ナリ。

心牛

万法

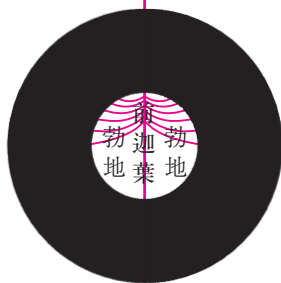
春夏秋冬、轉變自在事、
總ニ法界事有ニ此中ニ。徧中正ナリ。

万物

頭々物々上、大自在三昧、飲茶談笑、
行住坐臥。正中来ナリ。

佛

釈迦牟尼佛 摩訶迦葉 阿難佛 達磨大師 永平 大乘 洞谷 師資
佛四十九年說法・十界中無量無邊事、
此ニ約。兼中到。



此圖ハ無用



此圖

招宝七郎^{（郎カ）}、拳ノ手ヲ仰面、大虚^{サツ}膠眼、
自目一致、是魔境ナリ。

号^レ大^ト本有天然妙位、諸佛頂上、
衆生本源也。兼中到ナリ。

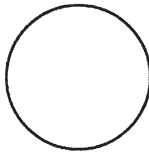


此切紙別而宗門之大妄也。佛界^{トハ}法界上、無量事不^レ殘事也。八万^{マン}之諸聖教等也。修行地也。魔界^{トハ}曾^テ佛法^ヲ無^キ沙汰^一處也。濟家之至極位、洞上之中途、兼中至也。大魔境^{トハ}佛魔共^ニ不^レ立^セ處也。宗門之(30ウ)頂上也。諸佛之護持、一法大極已前、無極有^リ妙位^{ニモ}。雖^レ然^{リト}已前妙法^ハ、不^レ有^ニ談論之法^一、諸佛出世、為^ニ轉^ニ法輪^一云^ニ話頭公案^一也。故云、大極已前^ニ無^ニ此話^一。無^ニ此話^一處、大極已前無極^ノ處、大魔^ノ境也。根本^ハ總^ニ無相也。故^ニ往來共^ニ無形也。無形^カ根本之正鉢也。同^ク參、先佛界^ヲ。舉、柳綠^リ花紅。魔界^ヲ。舉、大虛^ヲ睜眼^メ云、外^ド外^ヤ。大魔境^ヲ。舉、言^ハスル^ニ無^レ言^一。武帝、達磨、趙^々之無、大魔境、類則也。

皆建長三^辛年六月十二日

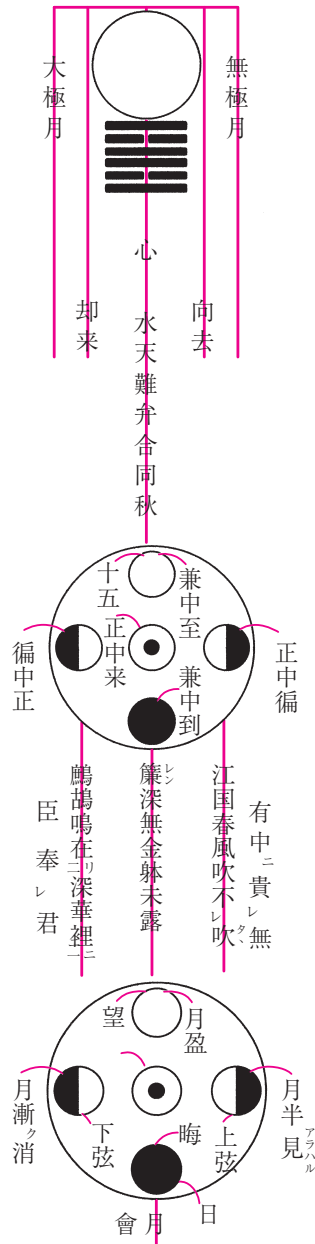
永平希元御在判

(55) 永光一駒澤 0055 「證淨訓訣」
「五十五」



證淨訓訣 天童山如淨禪師曰、佛法者、秘^シ非^レ秘、只^タ為^メ令^レ書^サ功^ヲ也。曰、既^ニ是^一大事因緣、為^ニ甚麼^一落^ニ糞土^一。元答曰、是一大事因緣如何放身^セ。淨和尚曰、如是々々。拋筆云、傍參輩、三年而可^ニ始^テ得^一。是則宗門之秘訣也。頂上ノ一句子也。若^シ是謾^ニ流^セ希^ハ、即眉鬚墮落^セ。同^ク參禪、證淨訓訣^ヲ舉^ス。(31オ)内不^レ住^ニ根本^一、外不^レ涉^ニ諸緣^一。夫^レナラバ、何^ゼ糞土^ニ落^チタゾ。舉、落^テ不^レ淨^ニ伴^ハ一物^テ候。證^ト捫^ヲ舉^セ。代曰、火煨^ヲ水^ニ不^レ讓、水冷^ヲ火^ニ屬^シ候ヌ。良曰、人々具足、一佛心事也。隨^ニ境界^一亦^タ不^レ落^ニ化相^一也。時^キ根本保^テ清淨也。嫡々相傳如此也。可秘々々。

(56) 永光一駒澤 0056 「月兩火箇大事」
「五十六」
月兩個大事



事林廣記 有月之事今畧之ヲ。

涅槃經ニ曰、月中ニ有リ黒衣ノ童子十五人・白衣ノ童子十五人、朔日ノ夜、白衣ノ童子入ル月宮ニ、二日夜二人、三日夜三人、次第ニ一人宛入、十五日十五人、皆入ル故ニ滿月也。十六日ヨリ、白衣童子一人宛欠クル也。黒衣童子又タル故無月ナリ云々。(31ウ) 曹洞宗、離ルヲ偏正・明暗・凡聖・生死、祖師瀆行ノ蜜用本分の位ト云也。無キヲ形云レ正也。有ルヲ象云レ偏也。無中主ヲ正中偏ト云也。法界ニ有ルヲ主、偏中正ト云也。萬一般ニ収ルヲ兼中到ト云也。萬ツ混兼中到ト云也。淨和尚之曰、晦朝和ニ合ソ日月、亦自二日月隨テ日右ニ行テ、去テ日光氣ヲ、到八日ニ、月張ル半明ヲ故ニ云ニ上弦ト。夫ノ時日右キハ白、月左リハ黒也。隨レ日ニ故ヘニ如是也。八日ヲ云ニ上弦ト、到二十五日ニ、月離レ日ヲ圓滿ニシテ白月也。日ハ圓黒也。全黒ノ処ヲ指レシト也。到二十六日ニ、亦タ月與レ日通氣ヲ。自ニ十七日ニ隨テ日ノ左ニ行テ、日去テ月光氣ヲ、到二十三日ニ、月失ル半明ヲ故ニ下弦ト云也。二十三日云フ下弦ト。此時キハ月左リハ白ク、日右ハ黒也。八日ノ如レ月、到ニ晦日、日ト與レ月會合、一圓無差別也。此云ニ

極暗極^ト也。不^レ可^二分明^{ナラ}、不^レ可^二曹洞ノ智識^{タル}。月圓欠、偏正五位、君臣明暗、潛行蜜用之大事也。無始終ノ正^ヲ爲^二君臣^ト、有象偏^ヲ爲^二臣位^ト。無形心漏^{モヨブス}用^{云ニ}正中偏^ト。本分^ヲ望^{云ニ}偏中正^ト也。父母蜜會、正中来也。功位一般、兼^{（32才）}中到也。君臣合道、偏正不二、兼中到也。向去、天然妙位^ニ到得テ、無形ノ本主^ニ相見^{スルハ}向也。妙主趣向ノ本位^ニ不^レ着^セ去也。却来ハ一度本位^ニ徹證シテ、亦未悟^{愚ト}成^{ルカ}却也。雖然一度^ヒ脱^生死^一二度不^レ着^セ来也。来^{アラハル}キザス。月兩箇^{トハ}、自己身ノ心月、目前天邊ノ月^ト、無爲有爲陰陽之二月也。

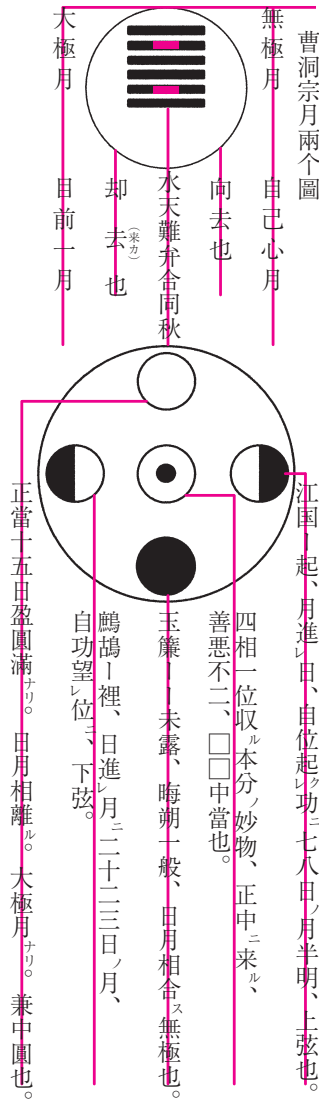
良曰、水^ハ地^{ナリ}。天地一圓也。秋^{キハ}兼中圓^{ナリ}。一圓ナレバ無差別^{ナリ}。故^ニ辨シ難シト也。有^ニ玉簾内^ニ故^{ヘニ}全躰不^レ露也。衣袋ノ内^{ナリ}。江国四縁境也。春風ハ氣息陽風也。起^{タス}ハ外道^ヘ漏^{モレ}サル也。鷓鴣ノ南煙^{ダシ}ニ栖^ス鳥^{ナリ}。我國ノ主^ニ比スル也。啼^{クトハ}、氣息声音ノ顯^ル、義^{ヘバ}今出胎ノ孩兒、出^テ、未^タ今時ノ塵^ニ不^レ染、故^ニ有^ニ深華裡^ト也。総^ニ盡ク大虚ノ一圓中^ニ居^{スル}義也。故^ニ此ク云。

嫡々相傳如此者也。

可秘々々。(32ウ)

（57）永光一駒澤 0057「曹洞宗月兩個圖」

曹洞宗月兩個圖



良曰、此切紙有^ニ事林廣記^ニ。晦朔弦望ノ圖ヲ其俟^ニ書シ^レ處也。重離卦ハ、陰陽交合、正偏兼帶、功位一般也。此中^ニ含^レ妙ヲ、是^レ云^フ心月^トナリ。不^レ見^ニ目前^ヘ而照^ニ破^{スル}無明ノ極暗^ヲ也。心月ハ根本無^ニ圓欠^一、因^テ境迷悟^ニ在^ニ圓欠^一、在^ニ出沒^一、是^レ無^レ為^ノ月^ト云也。亦有^レ月^モ同也。有相ノ月ノ圓欠ハ男女ノ交會也。上弦ノ月ハ殘^ル、愛欲忘念迷雲漸^ク晴行^ク處也。晴除^レ了^ハ、十五正當心地明白也。是清淨ノ心地^ト云フ也。互^ニ望^一執着無^ク、ノゾミ満足ノ處。下弦亦忘念起^ル處ナリ。次第ニ增長、晦日ニハ日月一^ニ重^{カサ}ナリ（33才）合也。是男女交合之處也。

可秘々々

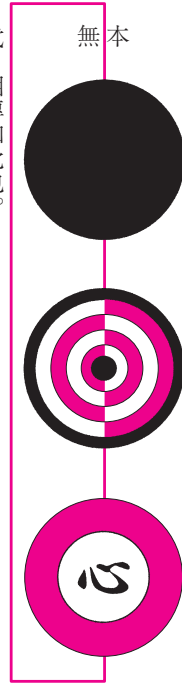
弘安五^壬午二月十六日 義介判

(58) 永光一駒澤 0058 「本無之大事」
「五十八」

本無之大事

人々具足个々圓成

本無妙



諸佛根源、本不生不
可得ノ阿字。本無者
毘盧ノ師報應主也。
衆生命根也。

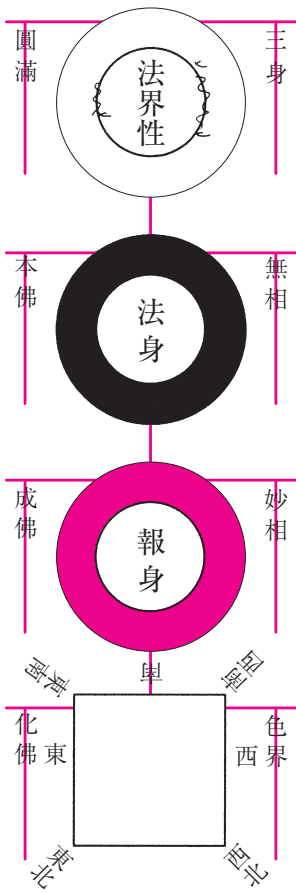
代々相傳如此也。

(59) 永光一駒澤 0059 「三身之圖」
「五十九」

三身之圖

本性ハ三身共ニ具足ナリ。法身ハ諸佛根源ナリ。報身ハ諸聖師ナリ。化身ハ現在教主、應身モ同也。法身ハ具足ノ妙心也。

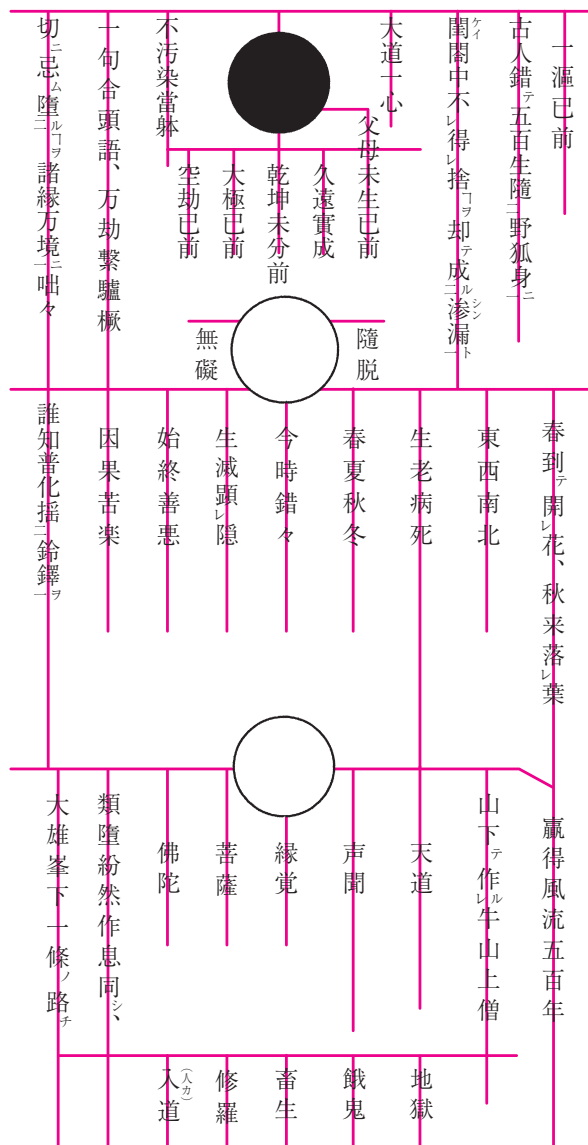
報身無并清淨心也。化身我相也。
嫡々相承如此也。(33ウ)



（60）永光一駒澤0000「野狐話切紙」

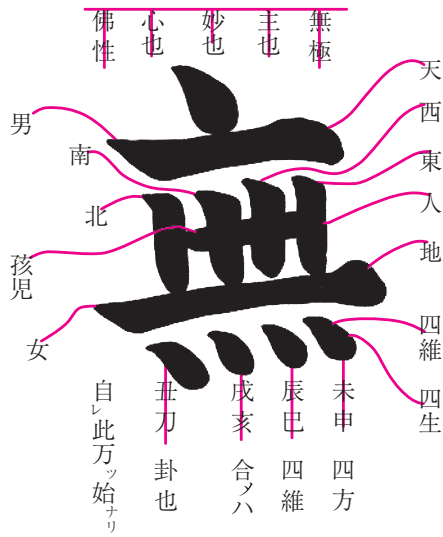
「六十」野狐話切紙

大修行底人、落因果否。前百丈云、不落因果。後百丈云、不昧因果。為什麼脱野狐身。万般住着、野狐窟忘念離却野狐轉身。



惡喜也。和氣同風雲同時是作一躡也。因果如車輪、一切衆生悉有佛性。嫡々相傳如此也。（34才）

(61) 永光―駒澤 0061「趙又無大事」
「六十一」



無者、人々具足佛性ナリ。内ニハ本心、外ニハ化形、法界無量之事、佛祖人畜、山川草木土石、盡皆一無變作也。卍字阿字同也。
不レ可ニ餘一毛一モ、皆此無之全身也。
代々相傳如此也。可秘々々。

(62) 永光一駒澤0062「那時三人圖」
「六十二」

那時三人圖

三人共ニ無差別、本一身ナリ。真人、無形、
幻人、空化身、本来人、柳緑花紅。

八句ニ小書アレハ
三人少シキ不三首
尾一故ヘニ除レク之。



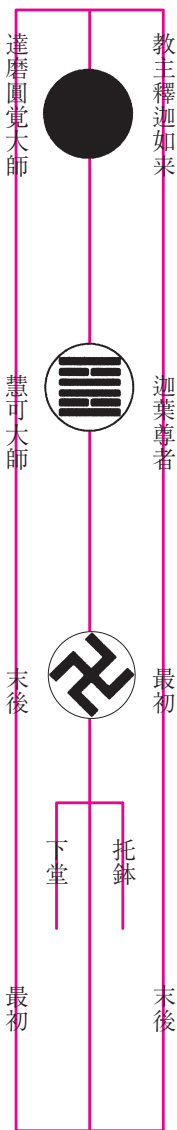
「六十三」

教主釋迦如來

迦葉尊者

最初

末後

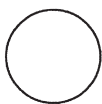


三世不可得、似^{タリ}這個^{タマ}唯傀儡兒^ニ一。

自前代相傳如此也。

(64) 永光一駒澤0064「最初末後之圖」

「六十四」



最初末後之圖是^レ鉢孟之圖也。鉢孟口向^レ天^ニ。雖^ニ常口^ヲ開、不知無辨也。雖^レ仰^ニ大地^一、如^シ知^ラ、天地合^シ生^ス四支^ヲ、合^シ不合也。《良曰、外圓^ハ法界ナリ、諸縁ナリ、万象ナリ、化境ナリ。中門ノ小圓ハ、法界ノ性ナリ。中ノ字ナリ。》

永平大禪佛云、家々門々透^二長安^一。洞谷和尚云、清白圓明。

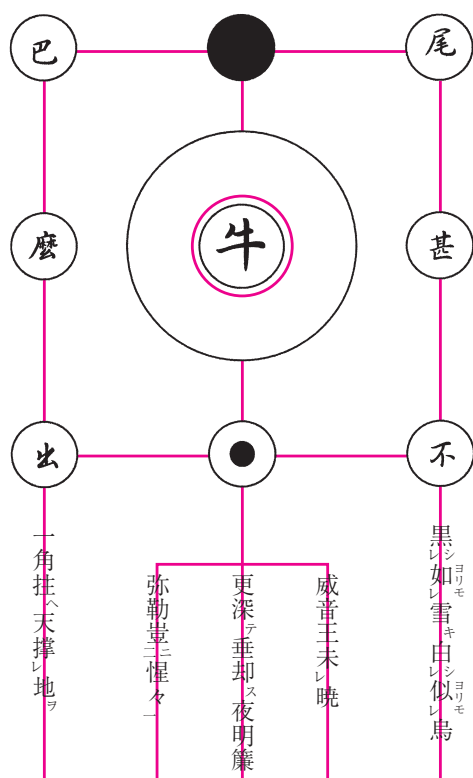
明峯曰、入^{テハ}幽玄底^ニ徹^ス。無涯曰、海枯砂歇^ク。峩山曰、一言盡十方。壺

庵曰、一字不說。珠岩曰、本來空。

代々傳來如此也。可秘々々。(35才)

林下曹洞宗における相伝史料研究序説（六）（飯塚・土屋）

（65）永光一駒澤 0065 「牛窓櫺之切紙」
「牛窓櫺之切紙」



良曰、外圓ハ万境化相、
中間ノ一牛ハ一物也。左右、
六圓ハ表ス六根ヲ。一物
當着ハ、譬ヘバ牛如レ過
窓櫺、腦後テ一見ヲ
重テ不レ見、没蹤跡
也。六根ニ住着ノ尾
巴残真一牛ヲ
看藏也。

永平希元大禪佛云、舒光照^{シヨ}ニス萬機ヲ。洞谷和尚曰、嘘一声。明峯云、目前真大道。同云、能々可ニ護持^ス。則是佛未^タ出世^セ、祖
師未^タ西来^セ以前ニ差破^ニ心性也。大虚充塞^ル、元来不動也。寂山云、千聖^モ亦^タ不識。永光十二世大源云、咄、此性難^レ出。大初
云、看時不^レ見暗昏々。又云、也太奇^{々々}。
自^ニ昔日^一傳轉来、可^レ秘々々。

〔貼紙〕

栢樹林大乘月舟古佛流傳之一紙

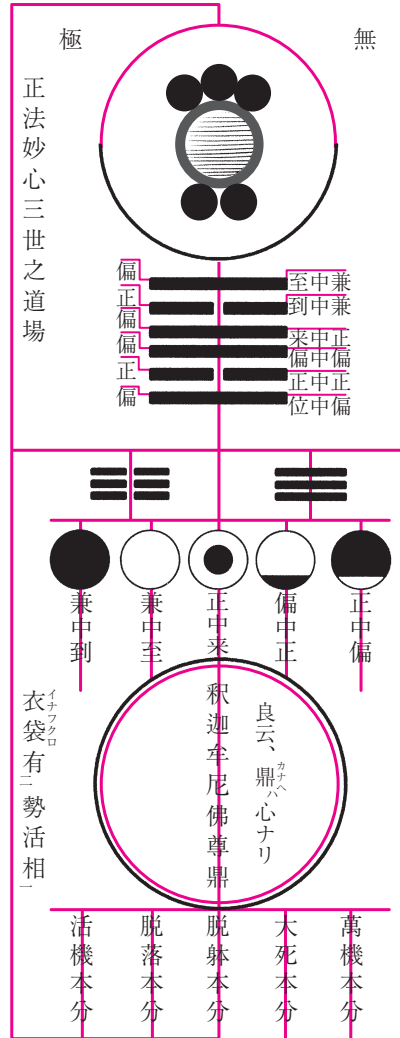
牛過窓櫺貴裡紙

阿難七夢經曰、訖栗枳王夢ニ、一大象閉在室中ニ、唯有ニ窓櫺ノミ。象於ニ室内ニ出ニ得大身ヲ、猶関ニ小尾ヲ。表シ釋迦弟子捨ニテ世業ヲ出家如ニ擲レ身出一。貪名利如関ニ小尾一。五祖演曰、譬如ニ水牯牛過ニ窓櫺一。頭角四蹄都過了、因ニ甚麼尾巴過不レ得。經云ニ大象一。今作ニ水牯牛ニ、借レ物頭レ法、於レ理無レ妨。禪者舌頭ニ無レ骨、呼レ彼為レ此、常途ノ手段也。五祖演拈来為レ人活弄。与ニ經ノ所說、理亦不ニ全同一也。如何是水牯牛。黑如レ雪白如レ烏。如何是一空之窓櫺。舒光照万機。頭角四蹄都過了、因ニ甚麼ニ尾巴過不レ得。却火洞然毫末レ尽、青山依レ旧白雲中。又甘爪徹レ蒂甘ク、苦爪連レ根苦。

（66）永光一駒澤006「樹上之切紙」
「六十六」「天童山景德禪寺樹上之切紙」
生下未分樹下難シ

露樹

天童山景德禪寺樹上之切紙



天童大和尚授^{玉フ}傳^{道元}。永平授^ク懷^契。々附^ス義^介。介授^レ吾^ニ。
仁治元年^{庚子}三月廿八日永平書畢^ス。喜元^三己^巳祀三月五日

授附^ニ明^峯老^ニ。洞谷紹瑾御判

峯曰、是洞上龜鑑^{ナリ}也。唯是人天之迷盲也。末世兒孫、可^シ難^レ明、即納^ニ珍金^ニ。大慧老、臨^下龍鳳^ニ而胸中有^リ三百活馬^一。蓋^シ未^レ明^ニ（36才）洞上五位^ヲ、不^レ稟^ニ曹洞ノ蜜旨^ヲ、洞山云、更夜中^ニ、子第入室^ノ、有^ニ正傳^一者也。是吾^カ一派稱^ニ秘訣^一者也。蜜傳有^リ之。始終訓訣。

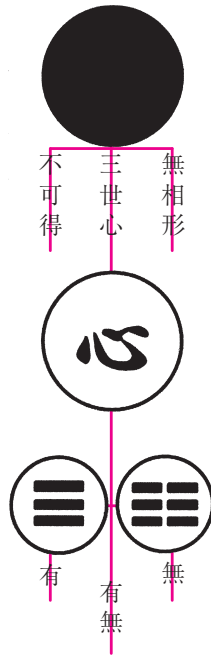
良曰、雖^レ有^ニ諸切紙^一多^ク、樹上ノ話^ハ、擊竹悟道ノ正當^ヲ再拏也。故^ニ此切紙難^ニ點頭^シ也。無^ハ極^ハ、未生已前ノ已前也。頂上ノ圖^ハ、

外圓、母胎也。内圓ハ孩兒、宿胎之正形也。是樹上當人、生下未分_ト云フ也。樹枝_ヲ含_ムトハ、乳房_{チブサ}ノ事也。手脚未_レ用故_ニ、不_レ攀_レ踏也。次ノ重離ノ卦ハ、万_ツ兼帶也。五形圓備ノ相也。次ノ乾坤ノ二卦、生死・善惡・寒燠ノ根本也。是_レ露樹云也。次ニ五位之圖ハ、五根・五相・五色也。次ノ圖ハ、衣袋ノ活相、釋迦ハ胎中ノ孩兒、閨閣中ノ一物、久遠根本釋迦也。勢活_トハ、生下氣勢也。是未_レ出_ニ母胎_ヲ處、一句_ト云フ也。尊鼎_トハ、尊心云フ意也。次_キハ胎中ニ居_ル何_ル何_ル方_ニ誰也。今産_ル、ヨト分明_ニ覺在_ル處万機也。生下ノ當頭萬忘_ス是大死也。生下ノ受_テ法界ノ風_ヲ、強_ク痛_ク一句呼_フ、此脱_カ躰也。無辨ノ形骸_ヲ忘_スル處、脱落也。自_レ是活機自在也。擊竹話_ト不_ニ兩般_{ナラ}。細蜜心有_ニ般多_一、難_レ尽_レ書。寛永五_{戊辰}二月吉日。(36ウ)

(67) 永光一駒澤 0067 「樹上之切紙」

「六十七」

樹上之切紙



代々相傳如此也。

「*以下の文、図の下部にあり」

良曰、是一透切紙、當則者諸門徒骨髓、明峯派ノ赤衾_{フスマ}、最_モ一大事也。宅良派、快庵派ノ唱へ、言_バ替_レ任、畢竟_ノ未_カ分_カ正躰也。脱_カ躰ノ説、尚_ヲ親切也。此切紙_モ右_キト同意也。圖_ツ正躰也。能_ク可_レ付_レ氣_ヲ。

（68）永光一駒澤0068「身心脱落之切紙」

「六十八」

身心脱落之切紙

二代云

永平門下_ニ有_リ三脱落ノ話_一。蓋_シ是開山大和尚在_リ三_レ天童_ニ時ノ悟處也。

●如何是身心脱落處。

◎如何是脱落身心處。

●如何是脱落_ミ處。

此三句_ハ只是一句也。一句_{ヲモ}亦_タ可_レ參_レス無_ト。尚_ハ不_レ獲_レ已_ヲ、某甲註破_シ了_ル也。

◎如何是脱落身心處。

●如何是脱落_ミ處。

ノ處、半白半黒也。謂_フ之_ヲ轉凡入聖_ノ一句_ト。不_レ可_レ下_ニ無_シバ如_レ是_ノ分_一、大休大歇_シ去_ル也。

◎如何是脱落身心處。

●如何是脱落_ミ處。

ナリ。中間ノ黒處、外邊白、中間黒也。謂_フ之_ヲ轉_レ功_ヲ就_レ位_ニ一句_ト。不_レ可_レ下_ニ無_シバ恁_ニ麼_ニ會_一取_{スル}分_一、深_ク透_リ深_ク徹_シ去_ル也。

◎如何是脱落身心處。

●如何是脱落_ミ處。

下内外、全_ク分_ニ三_ツ黒庭處_一、脱落_ハ、（37オ）烏鷲豈_ニ漆桶_一乎。離_ニ四句_一絶_ニ百非_一、直下無_ニ第二人_一。●●不_レ同_ニ五位君臣之

◎如何是脱落身心處。

●如何是脱落_ミ處。

圈兒_ニ、聽_キ奇_キ分_一和合_ス、私_ノ黒處也。不_レ可_レ備_レ本_ヲ。洞家玄奥宗旨髓也。恐_{クハ}属_ニ流布_一、滅_ニ却吾宗_一、可_レ秘_ミ。奇_ヘソム

◎如何是脱落身心處。

●如何是脱落_ミ處。

ク、アヤシ、タマサカ、アヤシム、アヤシク、カクツカク

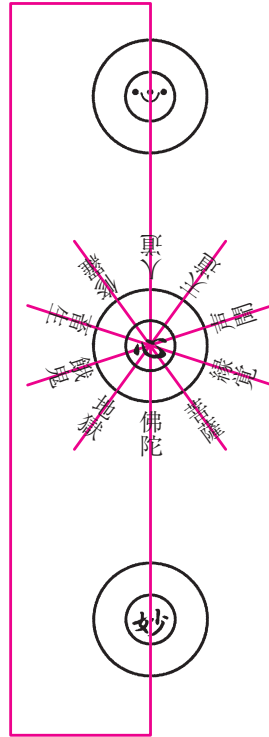
◎如何是脱落身心處。

●如何是脱落_ミ處。

皆正喜元_{丁巳}祀正月廿六日 懷穽在判

(69) 永光一駒澤0069「一心十界」
「六十九」

一心十界。又、十界一如。又、一心三觀。



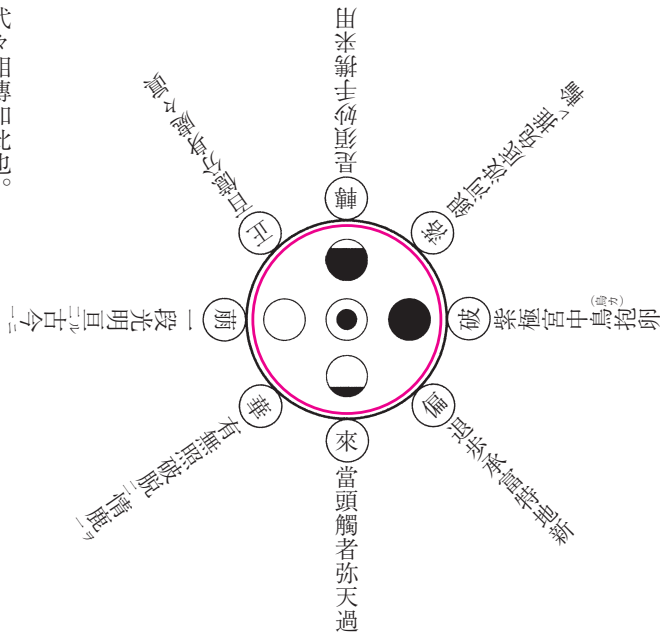
良曰、心三點、則三三九界ナリ。
横鈎ハ、佛界也。故一界ト云
也。自ニ無極無形ノ根源、分ニ十
界ト亦タ納ルニ無位ノ根源無相ノ本
心一也。是ヲ十界一如トモ云ヒ、成
佛トモ云也。妙者一瀚ノ先也。無
物ノ根本也。十界一心無差別妙
位也。黒圓ハ、萬ツ一位収テ泯
絶也。

十界本無隔、即今無差別之妙位也。赤圓ハ、十界露レテ、平等ナル圓形也。三ツ圖ハ、正位・偏位兼帶
位也。法界ノ萬ハ、皆ナ心ヨリ起ル。心ハ、万法ノ根源也。

皆元徳二庚午五月廿六日 大乘三代住洞谷素哲判 (37ウ)

（70）永光一駒澤0070「一文大光錢切紙」
「七十」

一文大光錢切紙



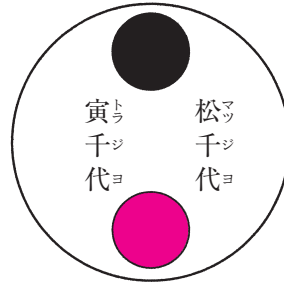
代々相傳如此也。

雲門ニ僧問フ、如何是曹洞宗。雲門云ク、一文大光錢。
曹洞妙蜜ノ家ヲ問ナリ也。雲門大師以ニ一文錢ヲ、曹洞ノ五位
ヲ分明ニ答話有也。大光ハ、年号也。大光年中ニ鑄タル
錢也。有ニ表裡、表テハ文彩四字、即偏也。裡ハ無文、
正位也。一文ノ中ニ百千万億含ム無量ノ妙一也。曹山八圈
ノ兒ニ、同ク五位、宏智和上八句、皆有ニ重々妙密旨一也。
●錢ノ裡、陰也、正也、地也。○錢ノ表、陽也、天也。
中間ノ穴ハ諸佛出身ノ一路也。經中謂ニ之ヲ蓮華宝蓋ト也。
重々有ニ意旨一、尽難ニ書尽シ。（38才）

(71) 永光一駒澤 0071「白紙之大事」

「七十一」

白紙之大事



従前々傳來如此他。(38ウ)

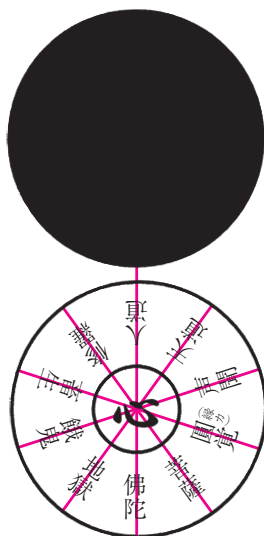
良曰、白色トハ、根本白色、本性本躰也。故ニ即今ノ白色、白直、無形無名ノ根體也。一代一代改ル切紙也。師字ト、資ノ字ト書也。受衣受戒ノ名ハ假名ナリ、著色也。悟リ了レハ本愚人也。到ニ不會禪ニ、即今ヨリノ白衣ノ凡人也。是レヲ白紙ト云フ也。著色ノ分、脱果テ、本ノ白木ナリ。釋迦大師モ達磨大師モ根本白地ノ凡人ト成給フ也。是レヲ如ノ當體ト云也。即今得レ如ト作リ、即本有清淨ノ如来ト云也。亦黒圖ハ無極、赤圖ハ大極、是根本之即躰也。其佯ノ正躰也。是レ白紙ト云也。即今無辨、無文、無字也。是レ宗門之。至極也。別而一大事也。

（72）永光一駒澤 0072 「一返消災呪之切紙」

「七十一」

壹返消災呪之切紙

消災妙吉祥神咒



嫡々傳來如此也

佛說消災吉祥陀羅尼

此咒消滅諸惡災難、諸事願望、令

万足吉祥、大安樂神咒ナリ

一返^ハ平等^ノ義ナリ。善惡無[、]差^ノ大咒也。諸仏真實真言也。

曩謨三滿多^ハ、過去現在未來之諸佛也。母駄喃、
清淨法身毘盧舍那佛^{ナリ}、名号也。阿鉢底^羅、盧
遮那佛眷属也。賀多舍^ハ、不動同眷属也、婆囊
喃、本師釋迦文佛也、怛姪他唵、聞^二一切鬼神此唵^一、
字^ヲ、悉^ク合掌而受^ニ佛^ノ言^一、佉々、文殊菩薩同眷属也。
佉唎^々、普賢菩薩同眷属也。吽吽、降九曜二十
八宿也。諸佛來迎^ス。入嚩羅^々、大通智勝佛同^ク
眷属也。嚩羅入嚩羅^{々々}一切香華自在佛同
眷属也。亦一切光佛共^ニ、底瑟淮^{々々}、弥勒菩薩同
眷属也。瑟致哩^{々々}、八万四千金剛名号也。婆癹
吒^{々々}、金剛菩薩同眷属。室哩曳、妙吉祥菩薩名号、娑婆訶、
熾盛光佛本尊ノ名号ナリ。本仏性本心妙主ナリ。

(73) 永光―駒澤 0073「曹洞機」
「七十三」

無縁 宗門之大事

善智識骨髓也。

曹洞機



天曉不露
夜半正明

皆永仁二年三月廿一日
正和三年正月十六日

大乘徹通介御在判
洞谷瑩山 御在判 (39ウ)

林下曹洞宗における相伝史料研究序説 (六) (飯塚・土屋)

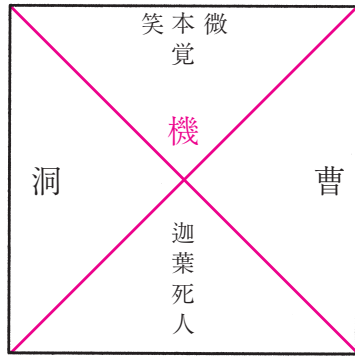
（74）永光一駒澤 0074「曹洞機」
「七十四」

龕也 心月也
樓閣千家月
火屋 本心

葬送場 安宿地
江湖萬里秋
從_レ生_ニ死_ル路頭_一

無_シ濕氣_一 貴賤無差別
蘆華無異色
身新死スレバ肉身薪ナリ

根本不會、白直 生死出離場ナリ
白馬下汀洲_{ハ、沖ト}
沒蹤跡也
汀洲_{ハ、沖ト}ノ中間ナリ
不_レ落_ニ生死_ニ

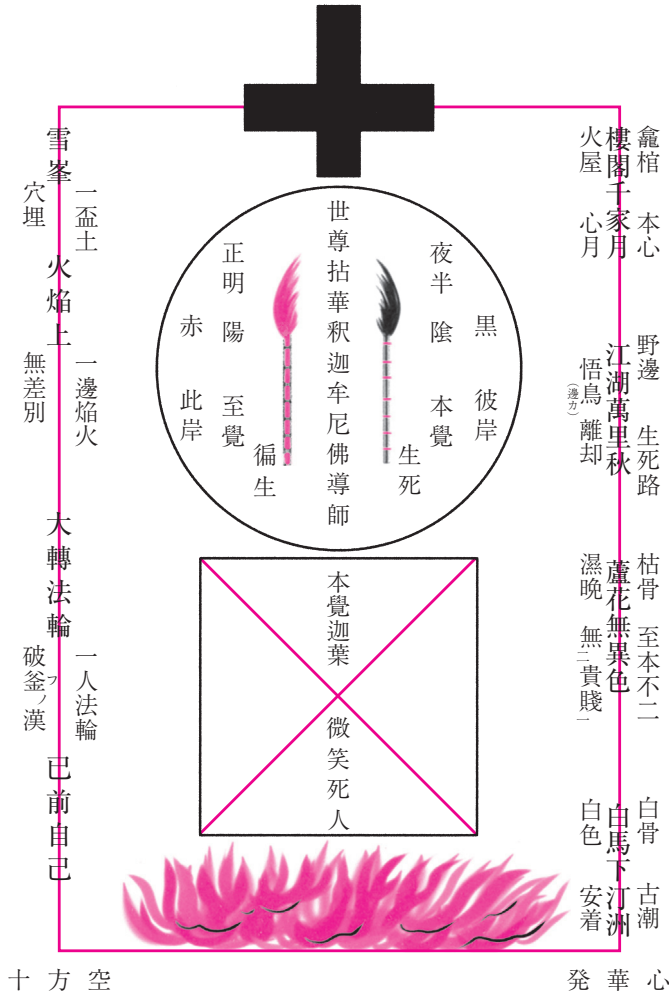


皆正應五_{壬申}年初秋二十八日
嘉元二甲辰九月十三日

徹通介御在判
蛭山紹瑾御在判（40才）

(75) 永光一駒澤 0075 「曹洞之大事炬切紙」
「七十五」

曹洞之大夏炬切紙



延慶三^{ケイ}戊^ゴ 歲六月吉日 洞谷御在判 (40ウ)

林下曹洞宗における相伝史料研究序説 (六) (飯塚・土屋)

（76）永光一駒澤0076「下炬之大事」

「七十六」

下炬之大^{（導カ）}丈 先道師釋迦大師也。死人ハ、迦葉和尚也。炬ハ釋尊急度拈シ玉^{ヒヌル}一華也。金婆羅華者、心華也、心華者、心火ナリ。釋迦大師急度指シ^テ拳^ヲ而令^レ玉^ヲ見^ル二百萬衆前^ニ所^カ一圓相也。故^ヘニ火^ヲ點^{シテ}而急度一圓相ヲ打^{スル}丈ハ、自身他身^ハ無^ニ也。化身・本身、仏・衆生一致而、無差別也、十界一如也。死人ハ無相、我身ハ化相也。導師ハ至覺、死人ハ本覺也。拈華スレハ微笑、至本不二也。不^ルヲ二以、成等正覺ト云也。導師ハ出世^{ナル}故^ニ、大陽ノ地、生火赤續松也。是^レハ心火ノ影也。死人^ハ彼趣向^ヘ故^ヘニ、老陰ノ淨場、死火黒炬也。是真^ノ心火也。真火ト心火ト合^ソ新亡ノ化身燒^キ拂^テ、根本無形ノ實相ニ安住^{セシムル}也。正ハ本^ハ、偏ハ影相也。死人ト導師ト也。回^ハ二ツ在物ヲ重^テ置^テ、其ノ^ヲ躰^ヲ失^セザル丈也。互トハ、二ツ在物ヲ一^ニト^{ロカシテ}蕩[、]二資不^ル見丈也。不二ニシテ何ノ^モ躰^モ無^キ時力、生死透脱也。棹^{ダン}上^ニ炬^ニ把置^ヲ所、回也。急度一圓相ヲ打^{スル}所、互也。此^コ佛身ノ正躰也。亦タ（41才）智識一大丈之有^ニ秘傳。打^ニ一圓相^一時、彼^{カン}急度^ヲ睜眼^ヲ、打^シ畢、炬^ヲ急度拈^{シテ}、閉目ノ低聲^ニ四句ノ文唱、活^ト兩眼見開^テ空^ヲ乍^ラ見、法語ヲ唱^テ、全身虛^ニ作^テ、ホカト一喝スル也。此^コ無^ニ心・無^ニ相・無^ニ念^ヲ放^下スル也。少^シ妄想出^{ズレバ}、新亡毒海^ニ深^{（沈カ）}淪^{スル}也。結句尚可^秘。參^ノ可知。一枚^ニ可^レ書。

(77) 永光一駒澤 0077「曹洞機切紙口傳」(仮称)

「七十七」

切紙口傳 天曉不露、夜半正明、曉天カトスレバ不露トハ、マタ夜明、夜半カトスレバ正明ト、早明白ト作^{アケス}ト云ハ、受^{アケ}テ肉身^一、此身現在^ハ出露シタカ、天曉不露、根本ノ俣^テ、久遠ヲ離^レヌ^ヌ、元ノ佛性ナリ。死シタカ、夜半ノ正明、本心ハ死ナヌ時、全ク生死^ニ墮^セヌ^ヌ也。偏正生死^ニ渡^{ラン}時キ、不犯ノ妙^{ナリ}、本佛也。亦曹洞ノ機^ハ、一烈機ヲ犯^カサヌ事也。機トハ、本心也。樓閣トハ、殿斗^リ云テ、主人ヲ犯^カサヌコト也。千家^ト云テ、真殿ヲ犯^{サヌ}コト也。月^ト云テ、無月ノ天ヲ犯^{サヌ}、(41ウ)江湖^ト云テ、本源犯^{サヌ}、萬里^ト云テ、本處ヲ犯^{サヌ}、秋^ト云テ、冬ヲ犯^{サヌ}、蘆華^ト云テ、深處ヲ犯^{サヌ}、無^ニ異色^一云テ、本色ヲ犯^{サヌ}、白鳥^ト云テ、黒処ヲ犯^{サヌ}、白鳥^ト云テ、黒処ヲ犯^{サヌ}、汀洲^ト云テ、深淵ヲ犯^{サヌ}又事也。畢竟^ハ、曹洞不盡ノ機^ト、新亡不死ノ本心^ト一意ナリ。時自正覺也。亦樓閣ハ棺、千家ハ八萬四千煩惱城、月^トハ本心、江湖^トハ野邊、万里ハ無量事、秋^ハ此身納所、蘆華ハ濕氣ノ無^イ死人ノ身、無^ニ異色^一、貴賤共焰^{ケムリ}ノ色同シ、白鳥ハ白骨、汀洲ハ、此岸・彼岸ノ中間也。下ルトハ、落着也。雪峯ハ消安^{キヤスキ}此身^ヲ雪、高上^ニ納穴^ニ埋^メタモ、不益土也。土中^ニ埋^ツム斗^リ、空^ニ墮^{スル}也。故^ニ火焰上^ハ、沈^スマヌ一機也。一切衆生、悉有佛性也。高下無差別ノ心也。大法輪ヲ轉ストハ、死^ニ在^ル活也。轉処作麼生。良久ノ曰ク、ヨツ。不滅ノ心共^ニ無^キ也。釜^ハ執着也。破^ハ釜ノ漢トハ、萬離却^メ、少^{シモ}繫念ナシ。時キ、已前ノ本有ノ自己也。拈華話、正鉢也。可秘々々。(42オ)

(78) 永光一駒澤0078「下炬之大事」

「七十八」

下炬之大事

先東西無辨、業惡愚凡ノ死漢ヲ請^ケ取^リテ、自具足ノ佛性ヲ不失、亦不死ノ本心ヲ不^レ滅、生々世々持^ツ處ノ人身ヲ不^レ捨^テ様^ニ弔^ト事、智識ノ一大^ニ支^ナリ。一切衆生化形ハ死スレ^ハ、本心ハ不^レ滅也。併^ニ導師因^ニ修^行ノ善惡^一、化相諸供^ニ本心^ヲ煞^ス事、即今^ニ嘆^ス敷^ニ事也。依^ニ弔^ノ様^一、不^ニ佛^ニ成^一而人身捨^テバ、必^ニ異^ニ形^ノ畜^ニ生^ニ道^ニ生^ニ事決定分明也。必具足ノ心ヲ不^レ可^レ煞^ス、人人持處ノ心火ハ、生々世々不^レ消^ヘ也。人死スレバ、心火収^メ故^ニ、死人ノ火ハ、宿火也。宿火トハ、埋^メ火ノ事也。雖有^ニ實^ニ心^ノ本火自然具^一、無^ニレバ燒^レ仁^ト、己^ト無^シ燃^ル。雖有^ニ金^ノ石^ノ木^ノ自^ニ火^一、不^ニ鑽^キ出^サ、不^ニ心^ノ火^ノ出^セ。雖有^ニ火^ノ、不^ニレバ^ニ燒^タカ^一。無^ニ爲^ルコト^ノ焰^ト。導師ノ火ハ、色火也、生火也。色トハ、境界ノ事也。二本ノ炬ハ、導師ノ火ト、死人ノ火也。導師、自^ニ喪^ニ司^一、炬請取所^ニ口^一、有^ニ大^ニ支^ニ。請取^テ脇^ニ挾^ニ、冥^ニ目^ノ蜜^ニ四^ニ句^ノ偈^ヲ唱^フ。然^{シテ}而、眼^ヲ發^開ノ、急度虚空^ヲ睜^レ眼^ヲ、打^ニ一^ニ圓^ノ相^ヲ。一圓ハ、心字ト卍字、正鉢也。(42ウ)十界共^ニ有^ニ此^ノ圓^ノ中^ニ。寂光土、便^チ去^{コシ}此不遠也。死亡^ヲ急度喚^ビ起^{シテ}不^レ死^ノ本^ノ鉢、即心即佛、令^メ正鉢^ニ安^セ着^一、法語ヲ唱^ル也。唱^リ了^テ一喝^ヲ而炬^ヲ拋^ケ處^ロ、生死透脱、根本佛身、當^ニ鉢^ニ也。自^ニ即^ニ今^一、一切衆生無^レ死^ス。隨^ニ化^ニ緣^ニ生^レテ^ニ化^ニ形^ニ盡^クレバ、隱^{クル}也。化緣盡^クレバ、雖^モ離^ニ化^ニ相^一、不^レ滅^ニ本^ノ心^ハ、導師唯^ニ心^ノ火^ノ不^ニ生^ニ滅^ノ様^ニ、本^ノ心^ノ不^レ死^ノ様^ニ、即身即佛引導スベキ也。下炬ハ、炬^ヲ下^タスト云字也。法界ノ化形、忘^ハ火^ハ薪^ノ盡^ニ火^ノ滅^{シテ}而無^レ跡^ト、本^ノ分^ノ心^ノ火^ハ、生々^ニ世々^ニ不^レ滅^ノ様^ニ可^レ弔^也。○亦三界ノ大教主釋迦如来ノ金棺ヲ、七萬^ノ諸^ノ大^ノ羅^ノ漢^ノ欲^ニ燒^ニト、法界ノ忘^ハ火^ハ、不^レ燒^ニ身^ヲ佛。自^ニ金^ノ棺^ノ鳩^ノ尸^ノ那^ノ城^ヲ遶^ルコト^ニ七^ノ匝^一、時^ニ迦^ノ葉^ノ大^ノ聖^ノ宝^ノ棺^ノ如^レ来^ノ、胸^ノ中^ニ三^ノ昧^ノ火^ノト言^{ヘバ}、隨^レ聲^ニ自^ニ棺^ノ中^ニ一^ニ生^ヘ出^テ、自^ニ三^ノ日^ノ一^ニ晦^ノ日^ノ迄^テ、漸々^ニ焚^スル也。是^ニ鐵^ノカ^ノナル^ノ證^ノ據^也。人持處ノ心火ト、佛火ト一般也。不^レ可^レ有^ニ二^ノ火^一。此時迦葉ノ言ハ、則^ニ下^ニ炬^也。今世ノ法語也。宗門ノ秘傳也。于時寬永九壬申載

初秋吉寅(43オ)

(79) 永光一駒澤 0079 「下炬之因縁」

「七十九」

下炬因縁 周昭王四十二年二月八日、悉達太子、十九歲遊觀^ス四門^一。有^ニ心^ニ悲泣^{スル}、生^ニ發心^ノ愚道思^ヲ、入^ニ檀特山^ニ修^レ道^ヲ、臘八曉天、明星出現^ス。成等正覺發^ニ心火^一。炬者、此心火也。發^ニ心火^一、為^ニ大光明^一、三界迷妄、破^ニ業惡衆生^ノ昏暗^ヲ、到^ニ菩薩^一菩提^ノ道^ニ。然則、釋尊^ノ佛心^ト、衆生^ヲ忘心^ト一般^ニ無差別也。新亡^ノ轉^ニ重罪惡德邪心^一、本有清淨^ノ佛心^ヲ露見^{スル}也。三ツ具足一句、先燈燭一句云、一段光明亘^ニ古今^一。香爐一句、三世諸佛向^ニ火焰裡^一轉^ニ大法輪^一。華瓶一句、山花開似^レ錦^ニ。

(80) 永光一駒澤 0080 「炬之拈處之參」

「八十」

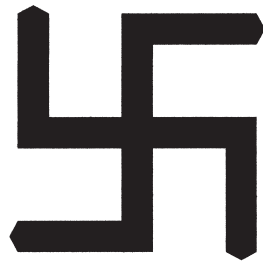
炬之拈處之參 師云、句ヲ。挙、尽十方法界、一圓ヲ妙鉢ヲ表シテ候。良曰、法身佛ノ妙相ヲ表スル也。○火ヲ。挙、人人具足ノ妙心テ候。○火ノ點シ様ヲ。挙、三界唯心。○夫レハ一片ノ火ナリ、何ト點シタゾ。挙、佛心ヲ點シ凡心^ニ、亦凡心ヲ點シ佛心^ニ候。良曰、是ノ火始終無^ニ消滅^一火也。○打^ニ一圓相^一様ヲ。挙、十界総^ニ此ノ一心^ノ内^ニ収^メテ^ソ候。○子細^ニ。挙、凡心ヲ佛心ト成シテ候。又云、凡身、佛身。良曰、根本賢愚一般而、十(43ウ)界無差別也。悉佛性具足也。乍^レ去、凡人迷故、天地大隔タル也。○師云、着語ヲ。挙云、不^レ住^ニ内根本^一、外不^レ涉^ニ諸縁^一。又、昔不悟今不迷。亦、元迷悟無^ニ渠開^一。良云、即今大乘ノ真以^ニ正眼^一見^ハ、根本何レモ佛鉢也。皆具足ノ心其俱本佛也。迷カ三惡趣也。炬ヲナケウツテ、一喝ノ端的、出離生死、迷悟透脱也。亦、内トハ、自己ナリ、諸佛本郷ナリ。從^ニ亦空着^ノ本源^一、得^ニ時節^一、現在^ハ出生スル也。時、根本ニモ不^レ住ナリ。是^ヲ不^ニ死^ニ墮^ニ云フ也。外トハ、萬法也。諸縁トハ、萬ノ儀也。法界ノ諸縁ニ繫カレズ、萬法ノ化相ニ着セズ、化相ヲ離ル也。時、往来無碍、生死脱出也。○畢境ヲ。挙、海枯^レ砂歇^ク。良云、海トハ、新亡ノ雜念、罪業也。沙トハ、化縁化相也。枯歇^ク、強罪妄念共ニ消滅^{ナリ}、化縁共ニ脱出也。根本ニ無^ニ罪業忘念^一。無量ノ事^ハ、有^ニ化縁・化相^一。即今ハ、無苦無染ニモ、清淨ノ真佛也。程ニ、新亡^ヲ不^レ墮^ニ三惡趣^一、自佛身^ヲ其俱^ニ佛^ニ作事、智識ノ一大事、於^ニ佛心宗^一、新亡三昧至極大事也。以上、炬切紙八通悉妙蜜秘傳也。(44才)

（81）永光一駒澤 0081「亡靈授戒貴裡紙」
「八十一」

亡靈授戒貴裡紙

永平授戒偈
曹山録有之

自之亡靈教化ノ一透ナリ。



中峯和尚亡靈授戒偈曰、奉レ請三界六道能化衆生濟度ノ地藏菩薩摩訶薩、仰願降臨シ道場ニ授^主菩薩
清淨大戒^一、大慈大悲哀愍教化。南無歸依佛、南無歸依法、南無歸依僧、汝歸^ニ依^{シテ}三宝前^一、發^ニ露
セヨ大懺悔^一。三返。此分於^ニ牌前^一、靜^ニ可^ニ三唱^一。亦如是書^ヲ 附^ニ與亡聖某居士・大姉^ニ納^ム。
希元禪師授戒ノ偈曰、但以^ニ衆法^一、合^ニ成此身^一、此身起時、唯^タ法^モ亦起^ル。此身滅時、唯^タ法^モ亦滅、
此法起時、不^レ言^ニ我起^一。此法滅時、不^レ言^ニ我滅^一。前念後念、念念不^ニ相對^一、前法後法、法法不^ニ
相對^一。如是書^ヲ於^ニ靈前^一回向シテ、廟處^ニ紙之也。亦牌前^ニ名ヲ喚ンテ、如^レ是三唱。亦教授師名判。
正授某^{大姉}禪師。



如^レ是書、沈淪ノ亡靈^ニ授ルモ可ナリ。卅字ト同意ナリ。三身ナリ。阿弥陀ナリ。
水火風ノ三ツナリ。日月星ナリ、天地人ナリ、心ノ三点ナリ。三身圓滿佛身ナリ。

年号月日永平大禪佛御在判 心得多キ也。是^レ別紙ナリ。（一）
合而此三冊
宗門大事秘書。（44ウ）

【参考史料（一）正法寺所蔵『佛祖嫡傳聖財之卷』】

正法寺—001

〜此衣表信

へ此一袈裟三世諸佛道場ナリ。衆生著二佛伽梨於鉢一、則為二無相之福衣ト。然者、便有相之凡身ハ無相之心ナリ。迦葉尊者著二袈裟於鉢ニ、則萬象森羅ト與二人人ノ這裏、無二更ニ差」。若有レ差、則有二生處一麼、有二死處一麼。山雲海月、表二肩上衣一也。慧能曰、此衣表レ信、豈レ可ニ以レ力爭一麼。不思善不思惡、正當與麼時、那箇是明上座本來ノ面目、本來衣也。へ五条五鉢、へ七条七識、へ九条九穴、へ四點衣、へ四鉢合而二十五之菩薩、相分而呈二四衣一、四大分離、本身露現、恙々出身、以爰號瑞衣、真是成佛作祖、云云。

○坐具是般若

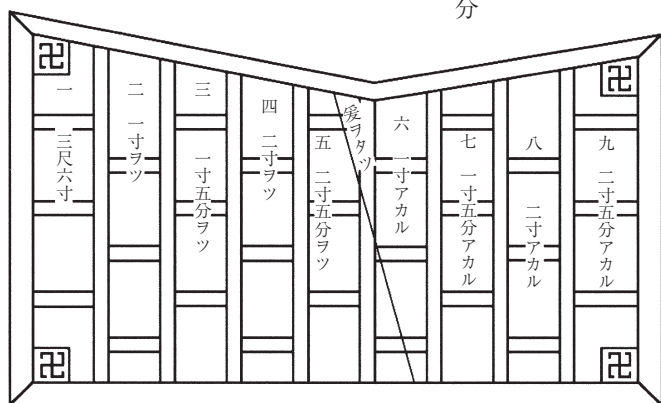
右以四天王護法、具法身性、一坐具、十方佛土中、唯有一乘法、虛空無邊、四王諸佛迷爰、諸祖錯是於爰拜。達則不就佛、不就法、不就師、不就我、禮拜常如是、云云。

宋紹定元年九月一日天童如淨授道元

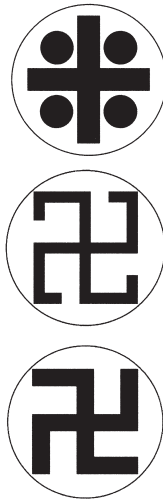
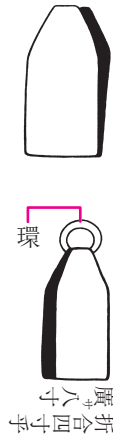
林下曹洞宗における相伝史料研究序説（六）（飯塚・土屋）

傳衣圖

四寸縁ノ廣サ
三寸也
号廣サ二寸五分



光背長サ一尺九寸 前背長サ一尺六寸折合ノ八寸也



八木田卍字者、八相三昧福田、米字、無始無終、大般涅槃境界也。披此衣時、唯有一人獨尊佛ナリ。其ノ人言句、一切皆ナ獅子吼ナリ也。

永平和尚傳 坐具文曰、

善哉尼師壇、諸佛所受用、願共一切衆、

常坐於其中。 右此坐具者、三世諸佛之

金剛座也。登此座者、正坐于金剛座、三

惡四趣之怖畏無レ之。

へ五条衣者、表二五佛、顯二五智、二ノ中ニ五佛

住ニ在其ノ中ニ、故ニ此ノ袈裟者、離ニ五欲、斷五煩惱、得五神通、滿ニ五智德、三世諸佛相傳ノ袈裟也。故ニ曰ニ行道衣ト、曰作務衣ト、一切時中用ニ此袈裟、故又曰ニ安陀會、此飄常住衣故、今日授へ七条衣者、表ニ七佛、顯ニ七菩提、七聖財、七等覺支、皆在ニ此中、是ヲ号ニ食衣、持ニ此袈裟衣者、法善禪悅之食、飽ニ滿心中ニ、故ニ外ニハ離ニ七遮罪、内ニハ得ニ七種善。此袈裟者、一二百三十五佛縫顯也。是三世諸佛相傳之袈裟也。故今授レ之。

へ九条衣者、三世諸佛之說法衣ナリ。上自

二十五条、下至ニ九条ニ、合ソ為ニ一衣ト。持ニ此袈裟者、上中下俱ニ九条ニ也。表ニ如来九識田備之智鉢。此衣者、三百五十佛縫顯、持ニ此衣者、離ニ九界ノ妄心、到ニ究竟妙覺之果ニ、是

三世諸佛解脫幢相之袈裟也。故今授レ之。

延文元年八月時正日在妙莊嚴院傳

之良韶 紹磧判

へ夫受衣者、我宿ニ母鉢内ニ九月也。其ノ間ノ修

理次第ヲ、謂ニ受衣作法ト、又謂ニ之受持衣ト也。

然ルニ袈裟者、我_レ在_二母ノ胎内ニ_一九月、其間ノ消息

次第露_ル也。當_二三月ニ_一、謂_二之ヲ葛麻ト_一、取_レ之表_二四條_一、

坐具ト、五月ニ分_テ一長一短五條也。謂_二之ヲ掛絡ト_一、七

月分_テ兩長一短七條也。謂_二之ヲ飯衣ト_一、九月分_テ

四長一短九條也。謂_二之ヲ大法衣ト_一、已上合_{シテ}而

二十五條也_{（四・五・七）}。皆是寶心三昧ノ内ノ消息ナリ。

亦五大出入息、柯_二縷無明ノ凡夫ノ緒也_一。表_レ之

為_二法衣二筋ノ緒_一。環者是_レ我_レ此ノ一心法ノ正鉢也。夫_レ

血脈トハ者、我_レ此ノ一心法正鉢信受スルヲ、謂_二正傳血脈ト_一、相

續_レハ此ノ血脈_一、我_レ此ノ寶心至_二三十二相ノ儀_一、血脈正

傳之道場也。又上_レシ下_レ下_レニシ上_レ、背_レ面_レ背_レ搭_レ袈

裟_一、此ノ一事無_二所トノ不_レト云_一通義也。

正保四丁亥年夷則下旬、於洞谷山前正

法良周和尚傳_二授ス此ノ旨_一。

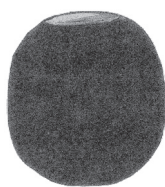
正法寺——002「鉢有切紙」（仮称）



地国天王 増長天王

四天王獻四鉢

釋迦形



無住相

一佛合作一鉢

多聞天王 廣目天王

○世尊一日勅_レ阿難曰、食時將_レ至_二シト_一、汝當_二入_レ城持_レ鉢_一。阿難應諾_ス。佛言、汝既持鉢_ス、須_レ依_二過去七佛之儀式_一。阿難應諾_ス。佛言持_レ鉢去_レ、云云。右此應量器者、三世諸佛持_レ鉢也。是有_二三七

林下曹洞宗における相伝史料研究序説（六）（飯塚・土屋）

種一、所謂金銀銅鉄瓦石木也。此七種合、為

一鉢一、傳迦葉二、持此鉢者、現世得福樂一、未來

不逢三惡四種之飢難一、無上菩提成就、

飽滿法喜禪悅之食一、故今授汝、々能

護持 現正法良北判

前正法二十四世辯大訥（朱印一顆）

付笑丹畢（朱印一顆）

正法寺—003「宗門拄杖子」

一七〇

天之二一

宿亢房尾斗女危壁婁昂觜井柳張軫乙丁癸辛巳曜月水
角氏心箕牛虛室奎胃畢參鬼星翼甲丙壬庚戌
七日火

孫杖此間一尺

八万四千統 七尺

地之三
蟬 蛆 鹿 麋 猴
馬 鹿 麋 猴
猫 烏 猿 燕
獼 猱 狢 狗
狼 豕 獾 牛 狸 豹 虎 兔 龍 魚 九曜 木 金 土
蛟 貉 狐 鼯 狸 獾 牛 狸 豹 虎 兔 龍 魚 九曜 木 金 土

鏡子

●宗門拄杖子 右起處喝羅^{ト云} 国^ニ謂^ニ鍍歩^一

有^ニ一ノ虫・彼虫充^ニ塞^ス上有頂、下金輪水

際^ニ、食^ニ衆生^ヲ恒河沙也。釈尊為^レ救^ニ衆生^ヲ、化^ニ

彼虫^ヲ為^ニ弟子^ト、摩頂^ノ號^レ拄杖^ニ。爾^{ヨリ}來^タ傳來^ノ、

降^ニ伏外道^一、化^ニ度^ハ衆生^ヲ、携^ヘ這^ノ拄杖^ヲ來^ル

故也、云云。或曰、天竺摩訶陀国^ニ謂^ニ牢^一

《又惡》有^ニ惡虫^一、長^ケ七尺五寸、常^ニ食^ニ獅子象^ヲ、

經^レ千歲、後其^ノ名^ヲ謂^ニ祖師^ト。一^ニ日^ニ飛行^ノ一萬

里^ヲ歸^ル。彼^ノ虫行^ク處、動^シ天地^ヲ、崩^シ山嶽^一、枯^シ

草木^一、渴^ニ大海^一、喪^ニ群類^ヲ。天竺^ニハ^ニ日^ニ月輪^ト、

震旦^ニ曰^ニ塞律^一、本朝^ニハ^ニ山形^一、佛曰^ニ之錫

杖^ト、名^ニ祖師^ト、禪^ニ謂^ニ之拄杖^ト、真言^ニハ^ニ謂^ニ之^ヲ散

杖^ト、鬼神^ハ謂^ニ之^ヲ死活杖^ト、武家^ニハ^ニ謂^ニ之^ヲ兵杖^ト、

所謂^ニ弓也。總^ニ皆^ナ為^レ除^ニ惡道邪路^ヲ也。

與^メ衆生^ヲ也。縱^ニ雖^レ稱^ニ善知識^ト、不^レ發^レ

明^セ這箇^ヲ、必^ニ不^レ可^レ持^一、云云。

道元在判

〔*図あり。図を先に掲載する〕

林下曹洞宗における相伝史料研究序説（六）（飯塚・土屋）

へ天童淨和尚曰、慇懃檢^ニ點烏藤^一看^ヨ。花^ハ向^ニ不萌

枝^ニ上^一開^ク。如何^カ是拄杖子。拈^ニ拄杖^一卓^ニ一下^ノ云、這

箇^ノ拄杖子、便^チ汝^カ拄杖子作麼生^カ呈^シ作麼生^カ

放下^{セン}。便良久^ノ云、即今汝^カ拄杖子^{ナリヤ}也否^ヤ。靈木

超然^ト異^{ナリ}、鳳棲^ニ桐梧^一無^ニ依倚^一。又云、乾坤道合

通^{ルニ}無^レ碍^リ。宋紹定元年九月一日授道元

和尚 右拄杖子ハ、上至有頂天、下至金

輪水際^ニ、充塞^ノ天地^ヲ為^レ鉢^ト、具^ニ足^ニ三界^一。山

形者、人々箇^ノ山形也。知^レ得這箇^ヲ了^レハ、契^ニ本

分相應理^ニ。へ鍍子者、上有頂天、下金輪

水際^ノ全鉢也。所謂撞^ニ破妄想業山^一。孫

枝者、佛祖ノ兒孫充^ニ塞^{シテ}盡大地^一、枝葉繁

茂^ノ謂^{ナリ}也。へ又拄杖^ハ者心也。へ孫枝^ハ者、意而影也。表^ニ

相^ニ法身^一。擊^ニ碎煩惱業山^一則^シ、全鉢法身當

鉢也。或^ハ言^フ、拄杖子化^レ成龍、吞^ニ却^ニ乾坤^一、是^レ

法身當着^ノ時節^{ナリ}也。へ拄者魂也。打^ニ破煩

惱雜穢生死衆罪^ヲ、不^レ受^ニ是非^ノ苦業^ヲ。へ杖

者魄也。應^ニ娑婆世界^ニ成^レ主^ト。一切千生^ノ間、

無相^ニ受^ニ二人天供養^一。然^ニ出^ニ生^ル世界^ニ、從^ニ拄

杖中^一來^{ルト}云云。從^ニ拄杖中^一來^ト者、謂^ニ主中

主^ト理也。受用^{スル}トキハ則^シ、從^レ左手得來^テ用^レ右手^ニ。

左手ハ久遠、右手ハ今時、向去却來ノ消息

也。



人人具足

箇々圓成

現正法良北判

正法寺—005「宗門拂子」

○宗門拂子 天童如淨和尚云、

這邊那邊、應用無_レ虧、如何是_一拂

子。豎_三起_一拂子_ヲ云、須_下携_ヘ妙手_ニ來_テ用_上。

受用底作麼生_シ云云。任_レ手拈來_{レハ}著_々親_シ。

宋紹定元年九月一日付道元

右以_{レバ}照_三天地_一日月ノ位也。天竺_ニ謂_レ喝羅有_二

一ノ國_一。彼ノ國廣_一百億恒河沙_ニ、有_二一ノ龜_一、龜殼廣_サ

十萬八千億、龜ノ首_ニ有_レ毛、即多寶塔_{ナリ}也。

是以故號_三拂子塔_ト、唱_二一切諸經_ヲ出_ス。經ノ文字、

即拂子ノ毛_{ナリ}也。此ノ拂子微細_{ナル}時ハ、則、成_二妙ノ一字_ト。

廣大_{ナル}時ハ、則、彌_三滿沙界_ニ。龜ノ首ノ毛_{ナル}故、名_二龜毛_ト。拂_一。

自_三拂子塔中_一、出_二生諸菩薩及_レ衣鉢_ヲ、故_ニ

釈迦牟尼佛出_二世_シ此_ニ、開_二拂子塔_ヲ、宣_二說

一切經論_ヲ。故_ニ拈_二起_一。彼ノ拂子_ヲ則、一切經論・衣鉢・

諸菩薩、總_ニ有_二手中_ニ。放下_{スル}時ハ、則、徧_二世界_ニ、一拂

スル時ハ、則、邪魔外道・鬼神魍魎・畜生人天・草木

國土、悉皆成佛_ス。故_ニ佛々祖々相授傳來_ス。不_レンハ

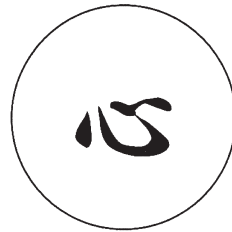
知_二此來由_ヲ、不_レ可_レ為_二善知識_一、知_二得_{セハ}此ノ旨_ヲ、佛祖

骨髓也。

道元判



得。謂^ニ之^ヲ教外^ト。大活現成^ノ、雖^ハ托^ト本分^ノ一着
子自性^ノ本心^ヲ、全^ク無^シ蹤跡^一、謂^ル拂子^{ナリ}也。拂
子^ハ、元來無面目^{ナリ}。拶^ノ云、如何是^レ一拂子。良久。



人人具足
箇箇圓成
良北判

へ右箇ノ拂子^ハ者、拈華ノ話也。又五尺ノ境界^ニ、表^ニ準^ス
空風火水地ノ五大^ヲ。此ノ形骸含^ニ藏^シ虚空^一、為^レ主走^ニ
過^ス東西南北中央^ニ。似^レ拂^ニ二万物^ヲ。來^テ在^ニ手中^一則、
佛祖也。從^レ心外來^ル、自^レ心中不^レ來、這箇即是佛祖ノ
心也。真ノ拂子^トハ者、夫^レ如^レ是。拈起^{スル}時^ハ則、佛魔俱^ニ消
除^ス。斷^ニ惡業煩惱妄想^一、一毛中^ニ不^レ就滋味^ヲ。柄^ハ五
輪五鉢、三身円滿^ニ而一如^{ナリ}也。故^ニ無^ニ塵勞妄想^一。人
人悉^ク雖^ハ在^ニ生死界^ニ、悟^ル時^ハ根本清淨身^ヲ則、無^ニ可^キ輪
回生死^一。此拂子^ハ在^ニ手中^一則、万法一如、一圓圓滿、
無^ニ際^ニ本分自性^ノ心華也。世尊ノ拈華豈^ニ有^レ為^ル
雜華^{ナランヤ}。世尊發^ニ開^{スル}心華^ヲ時^キ、迦葉ノ心華忽^ニ
開發^ス也。世尊瞬目ノ處、百萬ノ大衆會不

正法寺—007「宗門竹篋」

○宗門竹篋 天童如浄和尚云、

突出ノ総ニ難レ辨シ、堀地ニ深埋ム。如何カ是レ竹篋。云、

三尺黒蛇眠ニ暗室ニ。亦云、隨レ機動揺、

從來未レ露、云云。

宋紹定元年九月一日付道元

南天竺謂ニ竹峯山ト有レ山。彼ノ山ノ形似ニ竹^{林杖}

故名。彼ノ山ニ有ニ一ノ獅子、號ス篋破ト。食^ルニ衆生^ヲ

恒河沙ナリ也。釈尊^ニ爲^レ衆生^ノ故、化^レ彼ノ獅

子^ヲ、爲^レ佛弟子ト。摩頂授記^ノ令^ニ得^ル佛^一。

終ニ取^ニ彼ノ獅子ノ一毛^ヲ作^ニ竹篋^一。所謂彼、

獅子處、住ニ竹峯山ニ、故ニ取^ニ此ノ竹峯之

竹ト與^ニ篋破之篋^一、號^ニ竹篋^一。所以者何トナレハ、

爲^メナリ救^ニ衆生^ヲ拂^中シカ惡魔外道^ヲ也。故ニ邪

魔外道・魍魎鬼神・毒虫毒龍、當^ル此ノ

竹篋ニ則、悉皆成佛作祖云云。這箇ハ是レ法

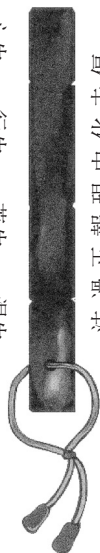
身ノ表相ニノ而擊^ニ碎^ス衆生ノ煩惱業識^ヲ。故ニ三

世ノ諸佛所ニ護念^ニ也。不^ニ善知識^一不^ニ相傳^一、

不^レ知^ニ得此旨^一可^ニ外道ナル者^一也。道元判

長三尺二寸 三節

來身 在 正 法
身 中 現 報 身
未 化 中 現 報 身



心生 行生 善生 涅生
発卵奉生 修胎夏老 提提秋病 藥化冬死

右箇ノ三尺二寸ノ黒蛇兒ハ、是則三世通達、三世ノ

諸佛ノ形影、法報應ノ三身、空假中ノ三諦、欲色

無三界、心ノ三点、三乘十二分教等ノ表準也。二寸ハ

生死ノ二ツ、則諸佛ノ通處也。三世ノ諸佛ノ通用^{スル}ハ、爲^メ

斷^シ衆生之惡業煩惱、清淨法身佛

化^シ千百億ノ分身^ヲ、應^ニ衆生ノ諸願^ニ、令^ニ滿足^一。

善知識拈^ニ竹篋^一打^ニ撥^{スル}學人ノ繫念^ヲ是ナリ

也。作家ノ宗匠拈^シ來打^ハ他、全ク非^ニ毒手^一、慈悲ノ

手段ナリ也。竹篋有心^{ナル}時ハ、則毒蛇、無心^{ナル}時ハ、則自己。一

箇ノ竹篋^{ナル}時ハ、則法身當鉢、拈^ル來^ル時ハ、則法身當行、

作^レ會涉^ニ背觸^ニ則法身度量埋却也。拗折^{スル}

底^ハ是レ法身透過^ノ、通^ニ達^ス三世不可得心^ニ。喚^テ

作^ニ竹篋^一則觸、喚^テ不^レ作^ニ竹篋^一亦背、喚^テ作^ニ這^一

什麼^一。良久云、古殿深沈^ト全鉢未^レ露。



人人具足

箇箇圓成

良北判

上來へ法衣・へ應器・へ拄杖・へ白拂・へ竹篋、謂_レ之_ヲ五種聖財_一。佛々祖々傳來相承而、到_二于我_一。我今付_二汝笑丹_一、盡未來際、莫_レ令_レ斷絶_ル。皆元禄十_丁年_丑。

大梅拈華山圓通正法二十四代

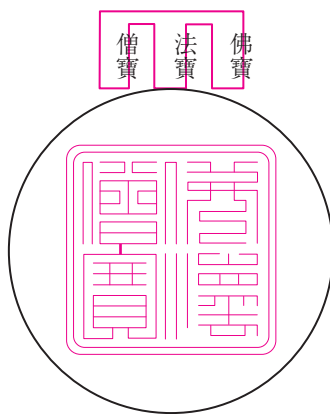
大訥叟良辯



林下曹洞宗における相伝史料研究序説（六）（飯塚・土屋）

正法寺—008 「三寶印」

○三寶印 達磨以來唯授一人



師 資
印 碍 無 逆 順

右捺有_レ秘訣、三寶_ヲ上_ニ作_シ、下_ヲ我前_ニ作_シ印_テ、右手_ニテ朱_ヲ横_ニ塗_ル、是十字圓滿之心也。又手當胸也。是中字_{ナリ}。豎_ニ三際_ヲ窮_メ横_ニ亘_レ十方_ニ心、此時佛菩薩・人蓄・森羅萬象、悉皆一圓、佛魔不二而、邪魔不_レ膠_レ眼、圓滿無際、無欠無餘之義也。捺時右手_ニ持_レ印、左手_ニ而横_ニ下_ヲ押_ス、右手_ヲ豎_ニ上_ニ置。譬_ハ如_シ十_ノ字_一。密_ニ三皈_ヲ唱_テ捺也。印

住スル時ハ則久遠、印破スル時ハ則今時ト観ス。起ス時從レ前起也。不レハ知ニ如レ是事ヲ、齋^{（齊カ）}ニ白紙ニ、塗^{（チ）}ルニ朱ヲ有ニ何ノ着眼^{（カ）}。是宗門知識之一大事也。

嫡々相傳于我、々今付ニ汝笑丹、莫令断絶、汝能護持

現正法良北判

正法寺—009「釋迦牟尼佛親手花判」

釈迦牟尼佛親手花判



鶴王龜形勢未休 五天文字鬼神愁
孔門弟子無人識 碧眼胡僧笑點頭

真宗皇帝御製讚

正法寺—010

七佛之卷

佛祖正傳要法空塵書

【*図あり。図を次頁に掲載する】

○本位ノ中ニ有レ自己、自己ヲ借^{（ユ）}ル時本位ノ力量一、本位全ク不レ依^{（レ）}自己一、空劫已

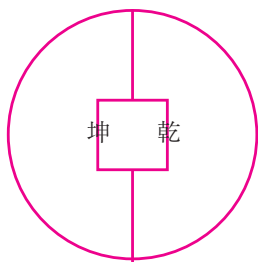
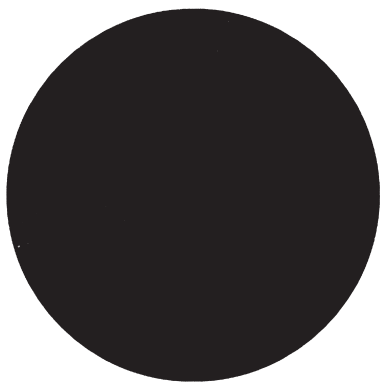
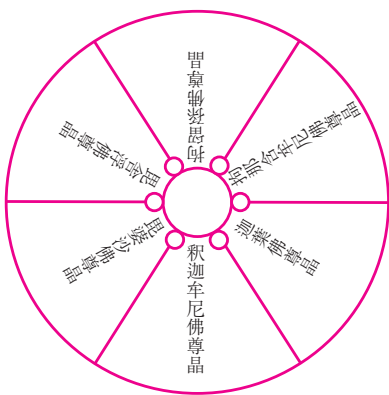
前、那畔ノ主、本地ノ風光也。一切衆生ノ根本ハ空性ノ大知也。自己ノ淵源、得ニ力量一來^{（ル）}、是皆本地ノ火光也。今時照^{（レ）}之、至ニ本分明明タル自己三昧一也。恁麼ノ時、非自己ニ非ニ本位一、是レ什麼ノ時節^{（ノ）}、急ニ須^{（ル）}著^{（ル）}眼云云。佛祖嫡々相承而至于我、吾今授^{（レ）}汝畢。

先展^{（レ）}坐具上敷^{（レ）}五條、資掛落^{（ノ）}、拜^{（レ）}師三拜。次敷^{（レ）}戒法ノ一枚書^{（ヲ）}、資以ニ兩足一踏^{（ニ）}展戒法之書^{（ヲ）}、九^{（ニ）}拜^{（ス）}師^{（ヲ）}、了^{（テ）}即疊^{（レ）}書。次ニ坐具上ニ敷^{（ニ）}五條^{（ヲ）}、其上ニ敷^{（ニ）}七條^{（ヲ）}、其上ニ敷^{（ニ）}九條。師資俱^{（ニ）}坐^{（ニ）}其上^{（ニ）}、便云、我今摩訶毘盧遮那頂上。次ニ書^{（ニ）}シテ卅字^{（ヲ）}於

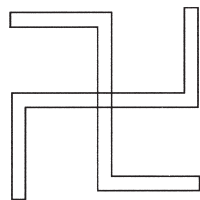
一紙ニ、敷^{（ニ）}九條ノ上^{（ニ）}、展^{（ニ）}兩足一踏^{（レ）}書也。于時師資俱^{（ニ）}一紙同位^{（ニ）}判^{（ス）}。以^{（ニ）}續松ノ火一燒^{（ニ）}血脈^{（ヲ）}。師資俱^{（ニ）}可

〔*図は、本文の画にあり。〕

林下曹洞宗における相伝史料研究序説（六）（飯塚・土屋）

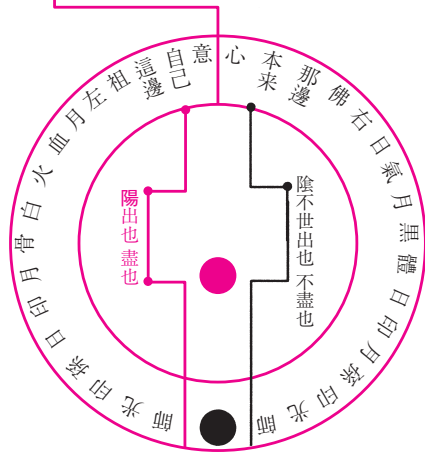


表



裏

〔上〕



〔下〕

レ吞レ之。謂^フ之ヲ一器ノ水ヲ移^ト一器。是則和泥合水也。次師資俱^ニ疊^ニ一紙^ヲ爲^ニ鼻巾^ト。師資拭^ニ兩足ノ裏^ヲ、次^ニ師資拈^ニ一紙^ヲ、後手^ニ拭^ニ不淨^ヲ、師安^ニ置^ニ一紙^ヲ、展^ニ大事^ヲ、添^ニ大事^ヲ納^レ之、云、一大藏經^モ拭^フ不淨^ヲ故紙^ト。展^ニハ大事^ヲ、弟子九拜^シ了^テ、坐^{スル}時、師傳^ニ大事^ヲ也。天地未分ノ主有^レ此^ニ、謂^ニ之ヲ眞箇法王妙中ノ妙^ト也。主出現^{スレハ}天地和合^{ス、和合スレハ}佛祖共^ニ出現^{ス、出現スレハ}草木叢林生^{ス、草木叢林生スレハ}即混沌分^レ了^テ七佛坐^シ玉^フ也。乾坤^ノ二字^{アリ}。乾^ハ是^レ盡^ニ、天^ハ是^レ夜、地^ハ是^レ地^ト。是乃天地・日月・星辰也。君臣道合、陰陽始^テ分^ル、曰^ニ之ヲ夜半ノ天^ト也。卍字^ヲ書^ニ左右^ニ、左^ハ等覺菩薩位、師鉢也。右^ハ妙覺菩薩位、資鉢也。傳授^ノ時、資^ハ乃資也。傳授^シ了^{レハ}、師又資也。賓主相交^ル時^ハ、則賓主歷然也。次^ニ師以^ニ右ノ二指^ヲ摩頂^ノ云、生死事大、無常迅速^ト、三返。付授^シ了^テ、下座。資問云、花餅^ニ立^レ松拜^レ君時如何。師云、珍重々々。資又問云、錦上^ニ敷^レ花時如何。師云、久立珍重^{ト云テ}坐^ス。即豎^ニ起拂子^ヲ云、柳緑花紅時如何。資對云、樹樹松^ハ青^ク躑躅紅^{ナリ}。右如^レ此等ノ大事、次第審細^ニ相傳^ノ之後、懷^ニ容大事^ヲ了^テ可^レ去。亦早朝作禮也。又大衆禮^ニ嗣法^ノ人^ヲ。有^ニ答拜^一。又判形之時、以^ニ三九寸ノ黑絲^ヲ、從^ニ左ノ第

四指^一刺^{シテ}出^レ血、師資合成^{シテ}作^レ血判^ヲ也。

〱七佛相承儀式目錄

〱一、梅絹紋綾白地本書、〱一、杉原、一帖、〱一、薄様、五十枚、
〱一、鳥子、二十枚、〱一、檀紙、一帖、〱一、油一燈、〱一、蠟燭二挺、
〱一、續松、二把、〱一、油烟墨、一挺、〱一、筆、一對、〱一、朱、一兩、
〱一、襪子、二足、一、浴衣、二領、〱一、帶、二本、〱一、時服、二重、
右精進時、禪定沐浴^ノ而可^レ傳^レ之。他人見^ニ知^{セハ}之^ヲ、佛罰忽^レ可^レ蒙^ニ其^ノ躬^ニ者也。可^レ秘^可秘。

佛祖正傳要法空盡中下段

〔*図あり。図を次頁に掲載する。血脈の系譜を以下に掲げる。〕

本師釈迦文佛大和尚―摩訶迦葉和尚

阿難陀和尚―商那和修和尚―優婆毘多和尚―提多迦和尚
―弥遮迦和尚―婆須密多和尚―佛陀難提和尚―伏駄密多
和尚―婆栗濕縛和尚―富那夜奢和尚―馬鳴和尚―迦毘摩
羅和尚―那伽樹那和尚―迦那提婆和尚―羅睺羅多和尚―
僧伽難提和尚―伽耶舍多和尚―鳩摩羅多和尚―闍夜多和
尚―婆修盤頭和尚―摩拏羅和尚―鶴勒那和尚―獅子和尚

―婆舍斯多和尚―不如密多和尚―般若多羅和尚―菩提達磨和尚―

二祖慧可和尚―三祖僧璨和尚―四祖道信和尚―五祖弘忍和尚―六祖惠能和尚―青原行思和尚―石頭希遷和尚―藥山惟嚴和尚―雲巖曇成和尚―洞山良价和尚―雲居道膺和尚―同安道丕和尚―同安觀志和尚―梁山緑觀和尚―大陽警玄和尚―投子義青和尚―芙蓉道楷和尚―丹禪子淳和尚―真歇清了和尚―天童宗珏和尚―雪竇智和尚―天童如淨和尚―永平道元和尚―永平懷契和尚―

大乘義介和尚―永光紹瑾和尚―總持紹碩和尚―正法良韶和尚―正法良印和尚―正法良用和尚―正法妙菊和尚―正法妙順和尚―正法良椿和尚―正法良鶯和尚―正法良苑和尚―正法良稅和尚―正法良盛和尚―正法良英和尚―正法良奕和尚―正法良圓和尚―正法良通和尚―正法良夏和尚―正法良逸和尚―正法良逸和尚―正法良周和尚―正法良心和尚―正法良總和尚―正法良北和尚―正法海辨和尚―正法新笑丹和尚

正安元巳亥四月十五日、上堂ノ因、世尊教主拈^レ華、八萬人ノ大衆、五百人ノ上足ノ中二指シ上ケ玉フ。大衆首ヲ回メ見トイエ^レ托、世尊ノ御意ニ叶ハス。迦

葉一人微笑ス。世尊云、我有正法眼藏、

涅槃妙心。摩訶迦葉ニ付屬スト言テ、後夜

ニ於テ、佛佛ノ儀式ヲナサントシ玉フ。八萬ノ大衆、五百ノ上足ノ目ヲ忍ヒ、耳ヲ塞テ、後夜ニ於テ靈山溪川ノ洞、優婆羅樹ノ室ニ入玉フ。

世尊ハ金像ノ獅子ノ踞ル上ニ、西ニ向テ坐シ玉フ。迦葉ハ東ニ向テ坐シ玉フ。外面暗メ通所相

難シ、則照鷄此ノ室ニ來ル。照鷄トハ、鳥ノ名也。兩頭ナリ。色ハ赤白ニメ、九處斑ナリ。胴中ヨ

リ火焰出ス。此ノ室ニ在テ一ノ燈ノ如シ、則法火ノ發スル處ナリトテ、世尊、迦葉、天ニ

向テ禮三拜。迦葉ノ坐具ハ上ニアリ、世尊ノ坐具ハ下ニアリ。禮三拜了テ、儀式ヲ作シ玉フ。即兩鏡ノ面ヲ合テ、袈裟ノイギニテ頭ヲ

藏シ、上ノ鏡ヲバ世尊ノト取り玉フ、下ノ鏡ヲバ迦葉ノ取り玉フ。影ヲ移シ玉フニ、世尊ノ持

玉フ鏡ニハ、迦葉ノ影アリ。迦葉ノ持玉フ鏡ニハ、世尊ノ御影アリ。是即佛佛ノ通所ナリ。

師資鏡面ノ影ヲ頂キ、袈裟ノイギヲ以、首ヲ卷キ、摩頂メ云、兩鏡マサニ通用ナリ。正法

眼藏ヲ傳テ云、盡未來際莫令佛種斷絶。是乃佛佛ノ口授ノ偈也。次二一鏡ノ影ヲ移シ、

中ニ世尊ヲ遊バシ、舌血ヲ合メ、本佛ヲ以テ、前

後佛ノ名字ヲ連テ云、前佛後佛ノ儀式、如^レ是^ノ、末代ノ佛佛ニ於テ斷絶セシムル事莫^レ。如^レ此儀式ナルニ依リ、今^ニ佛菩薩ノ頭光、一鏡ノ影アリ。又紫雲是ナリ。如^レ此了テ後、切利天ニ上リテ、十二年摩耶經ヲ説キ玉フ。八萬^ノ大衆白^レ佛言、如^ニキハ此ノ經文^ヲ、不^レ入^ニ平等^ノ一會^ニ、以^レテ何^ノ度^ニ三界迷人^一乎。願^ハ垂^レ玉^ヘ方便^ヲ。佛^ノ言、如是々々ト、説^玉ヒ金剛ノ十戒^一テ、一面ノ鏡ヲ以面ヲ彰シ、首ニ頂キ、世尊ノ御名ヲ彰シ、前佛後佛ノ名字ヲ連子、^{舌血ヲカタドリ、自他ノ首ニ水ヲ洒キ、照鷄}燈ノ九處斑ナルニ喩エ、續松トナス。諸佛ノ儀式、佛々ノ命根ナリ。道場ハ塔ナリ。額ハ、歸傳塔ト彰ス。菩薩・聲聞・緣覺、雲ノ如^レ集^ル、中ニ摩訶陀國ノ大王、六萬人ノ眷属ヲ引連テ、此ノ平等^ノ一會ニ來ル。六種震動^ノ、大六天ノ魔王、佛ニ障礙ヲナサントメ、盤石ヲ以テ此ノ塔ヲ打碎ントテ、天ニ上ル時ニ、塔数多現^メ、幾等^{イダ}トモナク、塔多シ。然レバ。額ヲ相^ヒ圖^ツニ打ントスレバ、亦塔モ額モ多シ。爾時魔王作^レ噴、盤石ヲ擲テバ、即塔トナル。今額は也。十二年過テ、中天竺ニ此法ヲ傳フ。中華天臺維摩室ニ

林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

及マデ、佛々傳來シ、斷絶スル^ノナシ。空盡書ノ如ク、末代マテ疑フヘカラス。若シ空盡書無クンバ、天然ノ外道ナルベシ。此書ハ元ハ梵語ニモ梵文ナリ。久クメ文字サダカナラズ。末代ニハ是ヲ学ヒ、本トナスベシ。法ノスタレ始ナルベシトテ、懷妊和尚假名書ニ作シ玉フ也。元ノ本ハ、永平開山ノ尊像ノ御胸ニ納ム。本料紙ハ、唐紙ナリ。必^ニ流布ニ属スル^ノナカレ。正法トハ古鏡、眼藏トハ舌血、涅槃トハ無盡、妙心トハ照鷄、火焰ナリ。付属トハ通所ナリ。西天二十四祖獅子尊者ハ過去第五劫中ニ、白衣ノ多聞智者ナリ。現在ニテ闍賓國ノカウホウト云里ノ獅子窟ニ坐スナリ。過去ニテモ比丘ニテ、萬僧供養シ玉フナリ。教者齋會ニ在テ禪教ヲ論シ玉フ。然ルニ齋主ト言論スル^ノ多カリキ。齋主答、釈理ニ當レリ。故ニ人々齋主ノ答ニ應ズ。多聞是ヲ深ク遺恨ニ籠テ、從者二人ヲ以、密ニ毒ヲ餉シカバ、教者即時ニ死ス。彼ノ教者四劫ヲ經テ、善業ニ依テ、今^マ闍賓國ノ大王ニ生レリ。聞^下多^上モ道業成テ、善知

識ト生レリ。現在ニテ因果ヲ還サンタメニ、獅子窟ニ入り玉ヘリ。同シ里^{サト}シユカウト云長者アリ。子一人持リ。十七歳マテニ、左ノ手ヲ開クヲナシ、亦言ハズ、片輪者ナリ。長者、是ヲ悲テ、或時尊者ノ前エ連テ出ケリ。去レバ、男子尊者ノ前ニ到テ、左ノ膝ヲ立、右ノ膝ヲ布テ、尊者ニ向テ、説^レ偈云、^レ我今古弟子、妙手中現在、皆是其中、心身舍利ト。尊者聞テ云、我^レ過去ニテ僧タリシ時、西海ノ齋ニ赴テ嚙珠ヲ受テ、汝ニ預ケシナリ。今還スベシ。ト言ヘバ、手ヲ開テ、珠ヲ奉ル、人々はヲ見テ、驚異スルナリ。你ハ過去ニテハ、吾ガ童子タリ。名ハ婆舍斯多ト云、前因ニヨリテ、今亦婆舍斯多ト號スベシ。我ハ則宿業ヲ償フ事アリトテ、前佛後佛ノ儀式ヲナシ申サントテ、兩鏡ノ通處ヲナシ玉フニ、通處叶ハズ、舌血及ハズ、我^レ過去ニメ、法我ノ咎ニヨツテ、儀式叶ハズトテ、深ク天ニ祈誓シテ云、汝左ニ舍利ヲ持バトテ、右ノ指ヨリ血ヲ出メ、前佛後佛ノ名字ヲ連子、摩頂メ云、我^レ今得^ル汝ヲ靈山ノ世尊、如^レ得^ニ迦葉^一ナリ。正法眼藏ヲ傳フ。盡未來際莫令佛種斷絶

謂^ニ之^ヲ呂ノ偈^ト。

本書云、右大宋寶慶元乙酉九月十八日

前住天童景德堂頭大和尚傳授道元

和尚儀式如^レ斯。祖日侍者、時ノ焼香侍者也。

宗瑞知客、廣平侍者等周旋ノ行^ニ此^一儀^ヲ。

本朝正應五壬申八月十二^三日夜半、在于永平

寺妙高堂、拜^ニ請正本^一、書^ニ寫之^ヲ訖。

延文元丙申七月吉日紹碩判、付與良韶

長老、良韶付與良印、ミミ付良乳、以來授手

傳來全ク不^レ可^レ混^ニ雜他^一傍出ノ宗派下^ニ、後

來辨^ニ察^{セヨ}焉^ヲ著。宣元祿十丁丑年二月吉日

現正法良北判

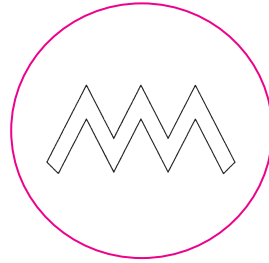
前正法良辯



付與笑丹侍者

正法寺—011「七佛已前之血脈」

天竺一枚反故七佛已前之血脈 書レ白絹



天童如淨判

永平希元判

維時仁治庚子稔季春廿八日夜半書之畢。

七佛傳來而、過去迦葉佛傳ニ付本師釈迦大師ニ、
自レ本師西天二十八祖傳來而到ニ菩提達磨大師ニ、
授來從ニ薄伽梵ニ七十八世良北授與、海辯者



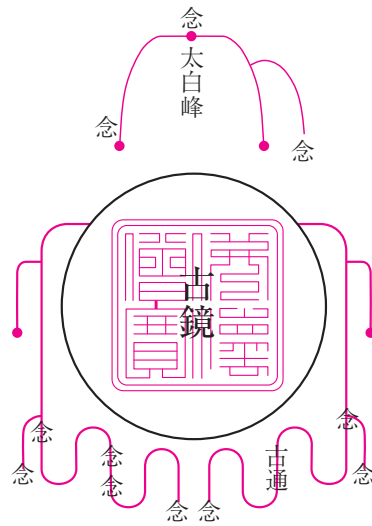
三界混起歸レ一心

良北判

前佛後佛以レ心傳フ

林下曹洞宗における相伝史料研究序説（六）（飯塚・土屋）

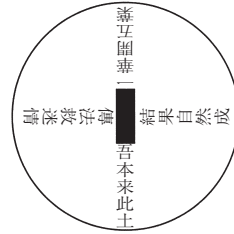
正法寺—012「過去七仏ノ儀式」



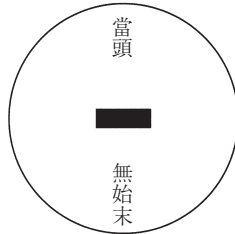
達磨大師在レ少林入定、觀ニ見過去ノ七佛ノ化
道一、八月十五日夜半、一天月朗空ニ有レ響。告云、
時至レ也。汝チ弘ニ佛祖ノ道ヲ。從レ空中墮ニ
此ノ圖ヲ也。時師歸レ西天、白ニ般若多羅ニ、般若
多羅許レ之。然ソ後來レ東土、附ニ之ヲ慧可ニ、是
乃七佛ノ儀式也。
建康三乙丑年八月十五日夜得レタリ之ヲ。

正法寺—013「一心傳戒」（仮称）

達磨傳慧可

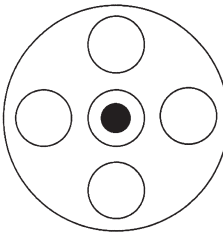


一心傳戒



正法寺—014「洞山五位圖」（仮称）

雲岩傳洞山



洞山後權^リ開^ニ此^ノ五位^ヲ作^テ偈^ヲ以^テ激^ニ揚佛祖^ノ本宗^ヲ

正法寺—015「三星圖」

佛正法眼藏 三星圖 祖祖相傳畢

【*図あり。図を次頁に掲載する】

六凡四聖、十界依正ノ者ハ、皆是レ一心一念ノ変作ナリ也。故ニ有性ノ者ハ、在ニ念起以前^ニ而念起ノ時^モ不識、念無ノ時^モ不知ナリ也。故ニ目前ノ虚空ハ即胸ノ虚空也。念與レ念處不知^{ナル時ハ}則目前ナリ也。虚空不^レ識、即胸空也、即佛心也。佛知見ノ者便^チ是^レ大善知識也。故ニ一切ノ諸念ハ虚空ト同ク一如ナリ也、同ニ大般若^ニ也。是^ヲ為^レ知ト。其ノ知ハ則チ主人公ナリ也、万法之主也。是ノ知能^ク領^ス一切空^ニ也。如^レ是之空ハ、理事混合^ノ而契^ニ一圓相^ニ故^ニ是ノ圓一^ニ聞見^{スレバ}、則目前之虚空也。是ノ空ハ無念也。無^ノ時^モ不^レ失、有^ノ時^モ不^レ現、終^ニ不^レ減、終^ニ不^レ生、無欠無餘也。故ニ古德喚^テ為^レ明眼ト。請^フ高^ク着^テ眼看取^{セヨ}。時節必不^レ無^ニ人云云。上足ノ外不可許。

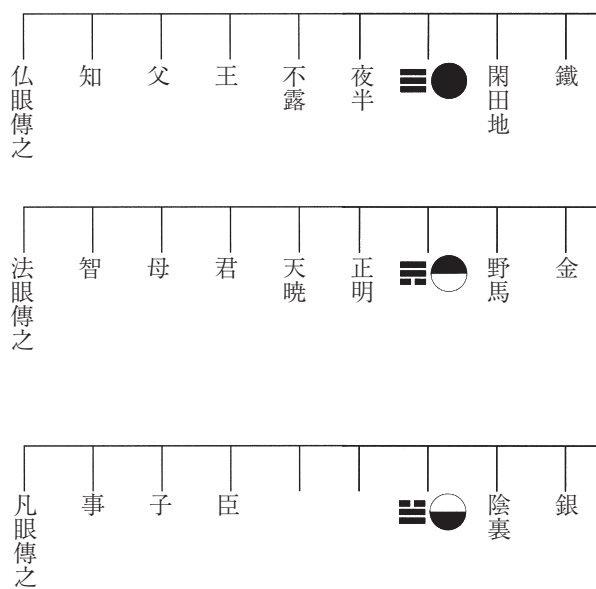
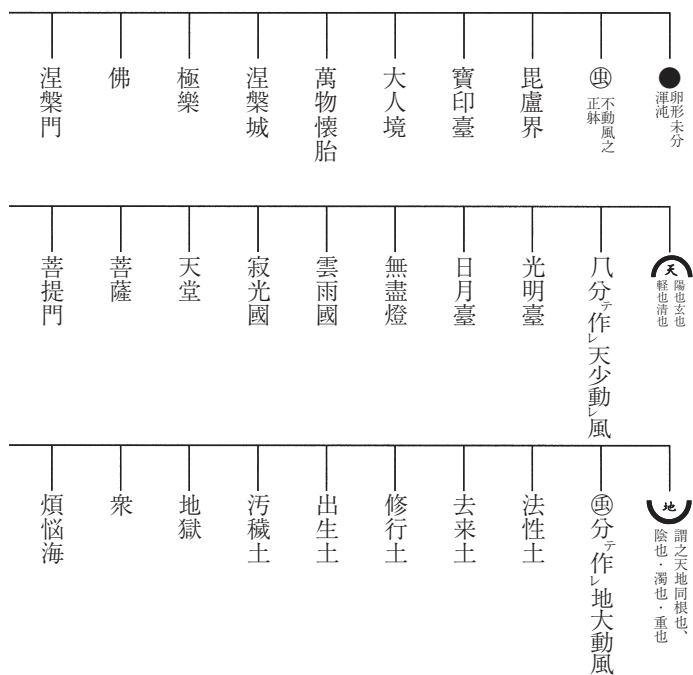
維時仁治二辛丑年三月十八日夜半書畢。

道元判

現正法良北判

正法寺—916「郢州大陽明安大師卵形之圖」

郢州大陽明安大師卵形之圖



へ明安大師示^ニ義青^ニ云、知^ニ卵形未分^ノ時^一無^ヤ。

青云、如何^カ是^レ卵形未分^ニ。へ師^レ以^レ手作^ニ●相^一示。

へ問、卵形分破^ノ作^レ天^キ時^キ如何^シ。へ師^レ以^レ手作^ニ○相^一示。

へ問、卵形分破^ノ作^レ地^キ時^キ如何^シ。へ師^レ以^レ手作^ニ○相^一示。へ問、

如何^カ是^レ卵形未分^ノ性^ニ。へ師^レ時^レ則^レ默^シ示^ス。へ問、如何^カ

是天^ノ形^ノ性^ニ。へ師^レ則^レ出^ニ陽息^一示。へ問、如何^カ是^レ地^ノ形^ノ性^ニ。

へ師^レ則^レ出^ニ陰息^一示。遠^ニ忽^ニ然^ニ大悟^一、禮謝而去^ル。后^ニ

某甲義青書^ニ卵形圖^一并^ニ師^ノ圈續^一以^レ作^ニ宗門^一

一大事^ノ加物^ト也。謂^ニ之^ヲ三箇劍・三談訣・三世血脈・三

寶論・三生眼^ト也。凡^ソ卵形^ノ葛藤^ハ者、天^ノ之陽氣

下^テ、合^ニ地^ノ之陰氣^ニ而、自生^ニ動搖^一之氣^ヲ、自然^ニ生^ス

萬物^ノ之躰^ヲ。殊^ニ有^ニ卵・胎・濕・化生^ノ之四生^一、各自具^ス五

蘊・六根^ヲ也。然^レ愚^ニ而迷^フ故^ニ、墮^ニ披毛戴角^一・起

滅塵坑^ニ・輪^ニ廻^ス三界^ニ。智^ニ而悟^フ故^ニ、教外別傳^一

而、出^ス生死^ノ窠臼^ヲ、遊^ニ履十方^一、皆^ナ是^レ天風地

風虫之所^レ作也。何^ノ故^ゾ、威音王如來、昔^シ坐

斷^ニ卵形中^ニ而、未^ニ曾^テ出^ニ生地^一。此時、諸佛菩

薩不^レ見^ニ諸佛菩薩^一、謂^ニ之^ヲ不^レ見不知^一之時^ト

也。如來出世^ノ回光返照^ノ而、深^ク省^シ本身^ノ相^ヲ、得^レテ

成^ニ三^ノ界^ノ導師^ト。於^ニ靈山會上^一、拈^ニ一^ノ枝^ノ芳^ヲ、引

得^ニ頭陀^ノ微笑^ヲ。后^ニ正法流^ニ布天下^一、是^レ卵形^ノ分

破以來妙道^{ナリ}也。若^シ問^ニ卵形未分^ノ時^一、實^ニ無^ニ一

法也。吾^カ師深^ク明^ニ本身^ノ之相^ヲ、權^リ立^ニ三^ノ種^ノ圈續^ヲ、以^テ

示^ニ某甲義青^一。青信受奉行^シ畢^ス。諸方^ノ禪

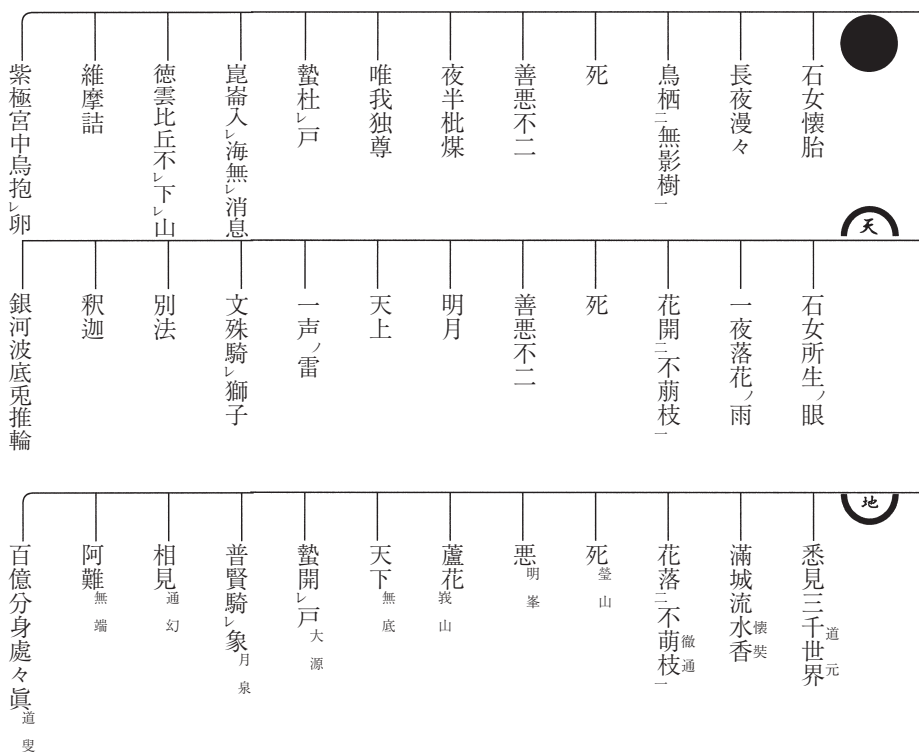
流、莫^レ疑^ニ此^ノ一大事因緣^ヲ、可^レ秘可^レ秘。

太宋寶慶元丁亥年九月十八日天童景

德堂頭和尚授永平道元、余來

嫡々相附。へ更有^ニ諸師着語并記^一之。

「*図あり。図を次頁に掲載する」



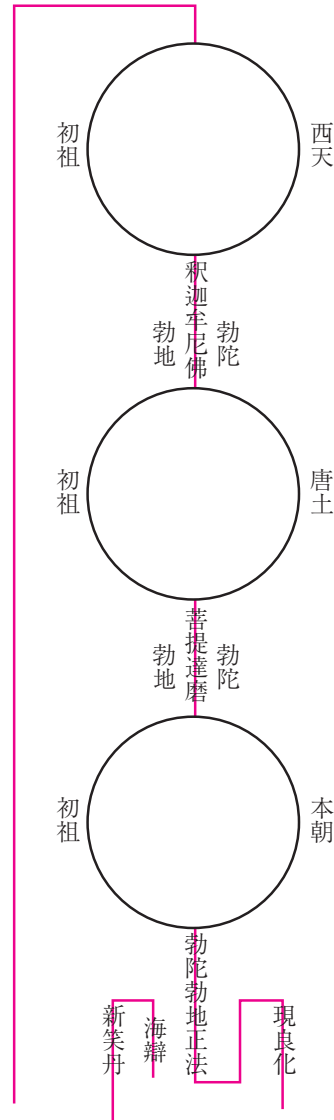
日本康永元年六月十二日総持堂頭
韶碩和尚付_二正法良韶長老_一。尔来嫡々相
承而到_二于我_一、々付海辯小師。
承而到_二于我_一、々付笑丹小師_二。

前正法良辯叟



正法寺—017「三國傳燈血脈」

三國傳燈血脈 地絹上品、青子黄色、三尺五寸二ノ書之。又曰勃陀勃地血脈



世尊昔日舉^ヲ拂子^ヲ問^レ迦葉曰、把^ニ此毛頭^一為^レ心^レ為^レ生也。迦葉曰、七佛已前^ノ梁也。世尊曰、^ヘ如何是^レ梁。迦葉曰、七佛已前^ノ一毛是^レ梁、梁是^レ七佛已前^ノ一毛也。世尊曰、梁與^レ一毛相去^ニ多少^一。迦葉拳^ニ拳頭^一、開^ニ五指^一。世尊曰、至^ニ五百塵轉劫^一外^ニ、附^ニ授^シ此^ノ一大事^一畢^ヌ。迦葉便九拜^ソ去^ヌ。

祖々相承傳來而到^ニ于我^一、七十八傳也。

ヘ師云、如何是^レ梁。云、釈迦。又云、達磨。又云、某甲什麼人^ソ。ヘ師云、猶^ヲ子細^ニ。云、心^ハ隨^ニ萬境^一轉^ス、々^{スル}處^ロ實^ニ能^ク幽^{ナリ}。ヘ師云、畢竟作麼生。ヘ云、即禮三拜。ヘ師云、梁者方法、棟梁、宗旨之事也。汝能^ク護持^{セヨ}。

現正法良北判
付海辯侍者畢。

正法寺—018「正法眼」（仮称）

我正法眼 向上掃地實到切紙

右以向上掃地者、長揚之工夫、放下肝膽
妬於月洗於水、廓然無聖而無分別
底漢云云。

現正法良北判

正法寺—019「涅槃妙心」（仮称）

涅槃妙心 微妙法門

右密付、從七佛至我與你、可授無法
財、可授無世財、了了了而可了無法。
代々紹功紹了無其功、如是承續、如
是密傳云云。

現正法良北判

正法寺—020「七佛儀式目錄」

上來七佛儀式目錄

へ一、空盡書、へ一、天竺二枚紙、へ一、大白峰、
へ一、寶鏡三昧、へ一、一心傳戒、へ洞山寶鏡三昧、
へ一、三星圖、へ一、大圓鏡、へ一、四處合頭、
へ一、卵形圖、へ一、傳燈血脈、へ一、正法眼、
へ涅槃妙心、

右十三条一一分明也。

皆元禄十丁丑稔五月吉日

大梅拈華山圓通正法二十二世

海盤叟良北判

大訥良辯



付與笑丹侍者

正法寺—021「三昧訣」(仮称)

吾授三昧訣

先師口訣也。

へ從^ニ過去七佛、嫡傳三品ノ中、是^レ最上ノ大事也。先ツ實相・化相自^ラ具足^{スル}、謂^ニ之^ヲ佛種^ト。生々世々不^レ失^セ人身^ヲ宗要也。生々^ニ難^キ受^ト人身、世々^ニ難^レ遇佛法、可^レ崇^可悦、繼^ヲ佛祖惠命^ヲ、豈^ニ非^ニ勝緣^ニ乎。

へ第一黒赤ノ二圓^ハ者、陰^ハ與^ニ陽、化相^ト與^ニ實鉢^{ナリ}也。上圓ハ化相、根本妙^{鉢ニ}而諸

佛・衆生、生々世々受^ニ此ノ化相^ヲ同鉢也。

佛祖^モ亦經^ニ三祇百劫^ヲ、重緣^ノ終^ニ成^ル正

覺^ヲ、所^レ以^ニ受^ニ此ノ化相^ヲ不^レ失^ニ人身^ノ也。直饒

依^ニ善緣^ニ雖^レ得^ニ智識^ヲ假稱^マ、心地未^シ明^{ナラ}、

還^テ可^レ墮^ニ惡道^ニ也。若^シ遇^ニ此ノ緣^ニ、頂^ニ受^シ之^ヲ

審細^ニ悟徹^{スル}者^ノハ、即佛身^{ナリ}也。中間ノ正字^ハ

者、世界國土、十方平等一圓ノ圖也。自^ニ四

方^一視^ル時^ハ之則七ノ字也。七ノ字^ハ一乙合^{イテ}始終^一

枚也。故^ニ正字^ハ世界露顯ノ形相、人々化

相ノ本也。然^ル時^ハ則上ノ圖合^キ在^ニ次下^ニ、最初^ニ圖^ハ之、

則生佛俱^ニ憑^ニ化相^ニ修持^ヲ受^ク佛果^ヲ、故^ニ始^ニ

書^ニ化相^一宜^也也。或^ル派下^ニハ、以^ニ正字相^一圓^ハ次

林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

下^ニ、一理有^レ之。是乃從^レ鉢出^レ用道理^{ナラン}乎。

へ第二圖、外圓佛界^ト與^ニ生界^ト也。中間ノ黒圓^ハ、無名無相、妙ノ之本分也。此事更^ニ無^シ耐^{タル}顯^ス之^ヲ。

故圖^ニ黒圓^ニ、是乃歷劫不盡^ニ性^{ナリ}也。又名^ル七佛^ト

魂志魄意神ノ五^ニ、加^ニ心性^ノ二精^ヲ、七^ノ之心表

準也。昔日七佛優婆羅樹ノ室^ニ、連^ニ七佛^ノ名

字^ヲ而傳^ニ授迦葉^一、是^レ以^ニ心傳心^ノ根本^{ナリ}

也。過去ノ二佛、現在ノ二佛、未來ノ二佛、

更^ニ有^ニ不^レ離^ニ三世ノ化相^ヲ一佛^ハ、合^フ云^ニ七佛^ト

也。所^レ謂過去ノ二佛^ハ者、本佛・化佛也。

又佛與^レ我也。又過去ノ二佛ノ親、現在ノ

二親、未來ノ二親、我身合^フ之^ヲ云^ニ七鉢^ト。二

親^ハ非^ニ父母^ニ、是^レ本化ノ二佛也。

へ第三圖、外圓ハ法界也。中間ハ顯^ス無形ノ心

佛・本分ノ正鉢^ヲ。雖^レ然未^シ出^ニ外頭^ノ、在^ニ本分

妙心ノ中^ニ。次ノ釋迦^ハ、正身ノ釋迦大師、靈山ノ

教主也。勃陀勃地、此^ニ曰^ニ覺智^ト。

へ第四黒圓者、天地和合、万般一圓、十方

世界一致ノ相^{ナリ}也。謂^ニ之^ヲ盡法界^ト。恁麼^ノ時

本空^{ナリ}也。無^シ窮限^一義也。喚^ニ十方一圓^一

枚ノ處^ヲ云^ニ寂光土^ト。是乃本佛ノ居處^{ナリ}也。

喚^ニ本有^ノ如來即心^ヲ、云^ニ唯心淨土^ト也。直饒

雖^ニ今時^ニ出世^一、如^ニ來^ル云^ニ久遠釈迦^ト。人々明^ニ徹^{スル}時^ハ如^レ是妙理^一、則久遠ノ釈迦如來也。

へ第五^ニ卅字^ハ、顯^ニ千百億化身^一ノ相^ヲ、現成公案

明歷々^{ナリ}也。卅中^ノ心^ハ、万法^ハ根本、妙心ノ顯現^{ナリ}也。

第一句者、向上^ノ一句子也。鐵漢者^ハ、誓語^{ナリ}

也。我今得^ニ宗門ノ一大事^一、更^ニ不^レ可^レ紹^ニ別師^一、

又不^レ可^レ容^ニ易^一之^ヲ也。謂^ニ之^ヲ堅實ノ誓詞^ト、

朱脉用^レ終合^レ始、則師資一般、生佛不二、

始本同位、邪正一如ノ表準^{ナリ}也。至祝至禱。

昔日瑩山・巖山・無底已來、代々傳問來

如^レ是。如今亦問付海辯、又付笑丹侍

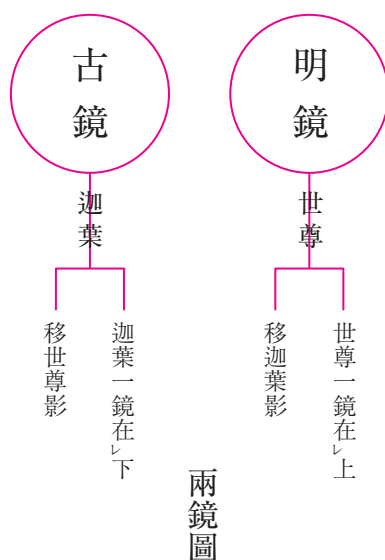
者。

享保十四年^{己酉}三月二十四日

前正法辯大訥



正法寺—022「兩鏡圖」



兩鏡圖

世尊一鏡 本覺位 寶 偏 明鏡 影
迦葉一鏡 始覺位 主 正 古鏡 影
相互

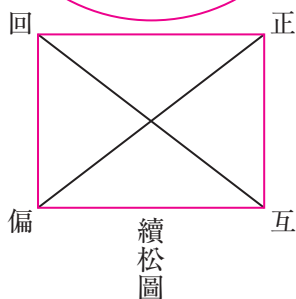
是始本不二、一牀通處、合面睡着、如^レ是。

正法寺—023「續松圖」



樓閣千家月、江湖万里秋

三圓相三回互授可知



林下曹洞宗における相伝史料研究序説（六）（飯塚・土屋）

正法寺—024「摩頂圖」



是時和合妙相圓滿而、只今成レ人。世尊如何^カ摩頂ス。云、へ你盡未來際莫令佛種斷絶。又云、へ摩頂時如何。云、探頭太過。へ作圓相ハ、師資一般之義、已四方ヨリ見レ之、一人也。從今身至佛身ト付囑ス。探頭ハ今人、太過^ワ佛心也。今ノ資ガ、直ニ過去ノ七佛也。摩頂時、轉大法輪也。不^レ沈一機来ノ一点也。

佛

師

印^レ泥印

佛

南

印^レ水印
報身圓滿

正

璽

も

印^レ空泥

皮膚脱落唯有

一眞實

曲終也不見、江上數峯青。

以心傳心

心

海盤判

前正法辯大訥



付笑丹侍者

へ師云、上圓相ヲ。拳、指天指地云、天地同根、万物一骸。
へ師云、圓中卮ヲ。拳、假二根本ノ妙相ガ顯テソロ。へ師
云、根本ハ無相、甚ガ顯タゾ。拳、烏^カハ黑鷺白^シ。

〔追記〕

末筆乍ら、史料翻刻を許可戴きました駒澤大学図書館並びに正法寺関係各位に甚深の感謝の意を申し上げます。

尚、本研究は、平成二十三年度駒澤大学特別研究助成（個人）による助成を受けています。